

研究シーズ集

SEEDS FOR RESEARCH & INNOVATION



芸術文化観光専門職大学
Professional College of Arts and Tourism

地域リサーチ&イノベーションセンター
RIC (Research & Innovation Center)

◆ 2025年度研究シーズ集発刊に際して



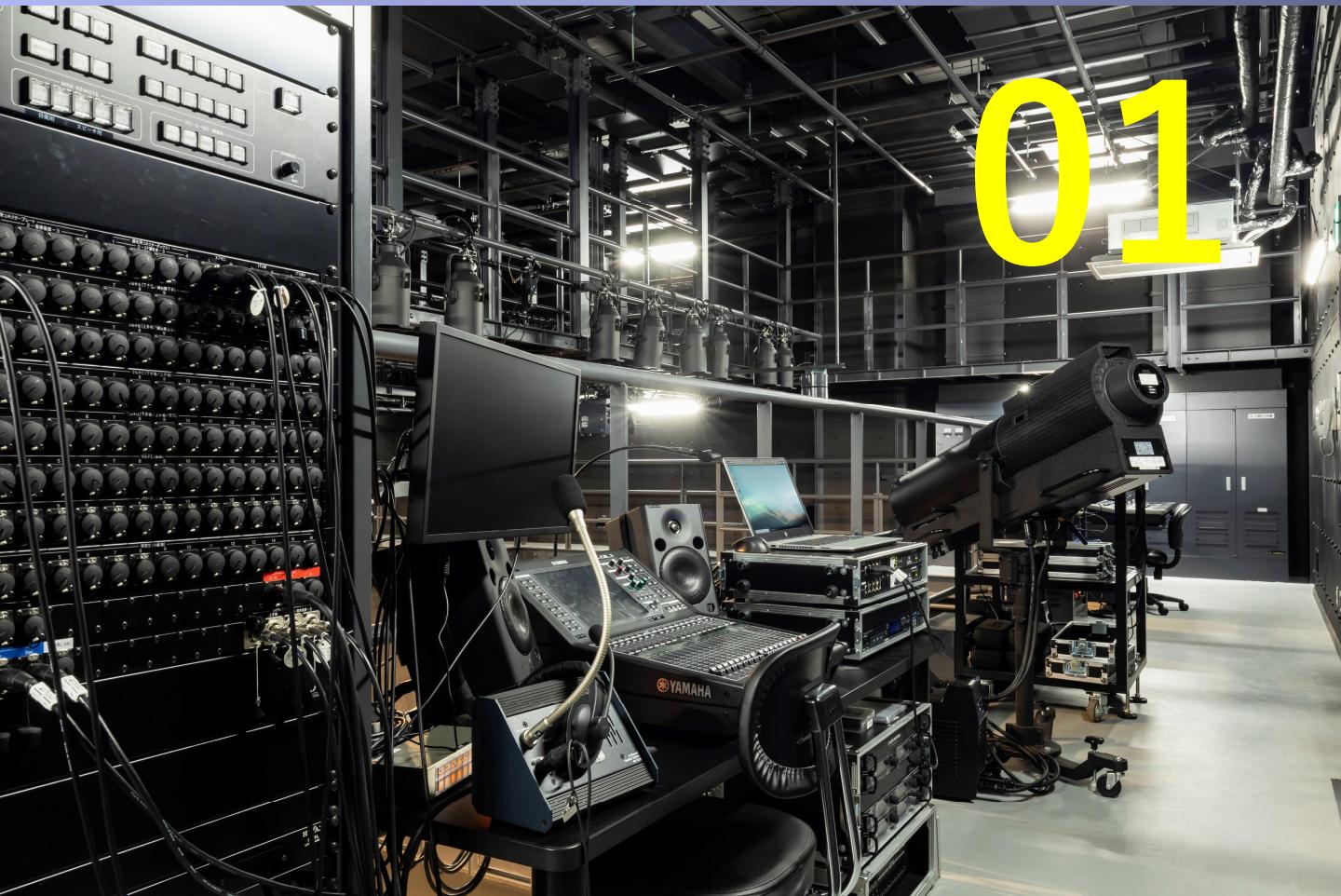
地域リサーチ＆イノベーションセンター長
小橋 浩一

芸術文化観光専門職大学は、芸術文化と観光の双方の視点を生かし、地域に新たな活力を創出する専門職業人を育成するとともに、地域に根ざした教育研究活動の推進と地域及び国際社会への貢献を目指して2021年4月に開学しました。2024年度には1年生から4年生まで揃い、いわゆる大学の「完成年度」を迎える。本年3月には第1期生が卒業し、本学のフロントランナーとして新たな未来に向かって羽ばたいていきました。

そのような中で、本学として地域社会へ貢献していくため、開学当初から「地域リサーチ＆イノベーションセンター（通称RIC）」を設置し、地域固有の様々な課題について、地域の方々と共同でその解決に取り組んでいます。昨年度は、課題解決型のプロジェクトである「RICプロジェクト」を過去最多の39事業実施しました。分野も、芸術文化、観光の他、多文化共生、職業体験、住民福祉の向上など幅広い分野にわたっています。

また、課題解決の検討にあたっては、プロジェクトに学生が参加できるステューデントアシスタント制度（略称SA制度）により、教員の専門的な知見とともに、学生ならではの視点からの提案等も行っており、高い評価をいただく一方、学生たちも地域を元気にする喜びを実感しているところです。

この研究シーズ集は、本学教員の研究分野、領域、具体的な研究成果の一端をまとめたものです。本学の専門性豊かで個性溢れる教員の研究情報をご覧いただき、現在抱えておられる課題の解決について本学との協働を是非ご検討ください。



舞台芸術

平田 オリザ	-----	04
木田 真理子	-----	05
児玉 北斗	-----	06
杉山 至	-----	07
石井 路子	-----	08
鎌田 麻衣子	-----	09
河村 竜也	-----	10
平田 知之	-----	11
深澤 南土実	-----	12
山内 健司	-----	13
岡元 ひかる	-----	14
田上 豊	-----	15

学長 HIRATA ORIZA
平田 オリザ



■キーワード 日本の劇作家、演出家、現代口語演劇理論の提唱者

劇作家、演出家、劇団「青年団」主宰、青森県立美術館館長 他
江原河畔劇場芸術総監督、戯曲の代表作に『東京ノート』、小説『幕が上がる』

■教育研究

- ・担当科目：コミュニケーション演習、芸術文化と観光、演劇入門
- ・RIC PROJECT：高校コミュニケーションWS、豊岡市ジュニアプレカレッジ

・専門領域 (2024年度実績抜粋)

* 作品上演等 (下記ほか5件)

- ・『ちっちゃい姫とハカルン博士』『ちっちゃい姫とシャベルン博士』作・演出 (8/10~13 江原河畔劇場、3/10 京都文教大学付属小学校)
- ・豊岡演劇祭2024 たじま児童劇団公演『転校生』作・演出 (9/6~8)、『銀河鉄道の夜』舞台手話通訳付公演 作・演出 (9/14・15 江原河畔劇場)
- ・『ちっちゃい姫とハカルン博士』作・演出 (10/28~30 福岡県大牟田文化会館)
- ・『サンタクロース会議』作・演出 (12/14 茨木市おにクリ ゴウダホール)

* 講演、配信、学会発表等 (下記ほか50件)

- ・東京都立芸術総合高校講演「社会における芸術の役割」(4/26 芸術総合高校)
- ・島根県立大学開学記念講演「エンパシーと医療」(6/1 島根県立大学)
- ・UNHCR「難民の日」トークイベント登壇 (6/15 TUSYAYA二子玉川店)

* ワークショップ・講義等 (下記ほか43件)

- ・子どものためのワークショップ2024演劇入門 (6/9 めぐろパーシモンホール)
- ・ソウル芸術大学ワークショップ講座 (7/8~12 韓国・ソウル芸術大学)
- ・「わかりあえないことから」中高生対象ワークショップ (11/3 札幌市民交流プラザ)
- ・日立造船 社員研修ワークショップ (12/17 大阪市住之江区)

* 兵庫県豊岡市内実施

- ・豊岡市「劇の学校」中高生対象ワークショップ (7/15 豊岡市民プラザ)
- ・県立日高高校ワークショップ授業 (9/18)
- ・新田小学校モデル授業 (10/24)
- ・港小学校モデル授業 (11/14)
- ・豊岡南中学校モデル授業 (1/28)

* 小中学校コミュニケーション教育ワークショップ授業

- ・大阪府枚方市 (5~12月 津田小学校ほか14校)
- ・京都府宮津市・与謝野町・伊根町 (10~12月 宮津小学校ほか5校)
- ・青森県佐井村コミュニケーション教育事業 (12月)
- ・福岡県大牟田市 (10/10, 2/22 中友小学校)

* その他

- ・UNHCR (国連難民高等弁務官事務所) + 芸術文化観光専門職大学共同事業『転校生が来た』脚本・共同演出、モデル授業 (4~3月)
- ・喜界島サンゴ礁科学研究所事業 ワークショップ授業・講演会 (2/27・28)

■アピールポイント

- 『東京ノート』第39回岸田國士戯曲賞受賞
- 『月の岬』で読売演劇大賞優秀演出家賞
- 『上野動物園再々々襲撃』読売演劇優秀作品賞
- 『その河をこえて、五月』で朝日舞台芸術賞グランプリ
- 『演劇1』『演劇2』が釜山国際映画祭でワールド・プレミア
- 『日本文学盛衰史』で第22回鶴屋南北戯曲賞受賞 他 受賞多数



豊岡市「劇の学校」中高生対象演劇ワークショップ (提供:NPO法人プラツ)



豊岡市「劇の学校」中高生対象演劇ワークショップ (提供:NPO法人プラツ)



授業風景



授業風景

KIDA MARIKO
准教授 木田 真理子



キーワード：

荒川修作+マドリン・ギンズ、身体感覚、ダンス、空間と身体の相互作用、情動、記憶、マルチモーダリティ

本学委嘱委員：キャリアサポートセンター委員

担当科目：身体コミュニケーション実習1、身体コミュニケーション実習2、ダンスワークショップ実習A、ダンスワークショップ実習C、演技論、専門演習、総合演習

研究・著作：



- 木田真理子「遊び心とともに変容する空間と身体—荒川修作とマドリン・ギンズの思索を手がかりにした実践から」『Core Ethics』21:89-100.2025.
- 木田真理子「他なるものとの関係性のなかで生成されるダンス—身体と情動をめぐるダンサーのオートエスノグラフィ」『Core Ethics』21:77-87.2025.
- 『22世紀の荒川修作+マドリン・ギンズ』フィルムアート社, 2019 (共著)
- 『Art and Philosophy in the 22nd Century: After Arakawa and Madeline Gins』ratik, 2023 (共著)

共同研究・競争的資金等の研究課題：

- 科研費（基盤研究C）代表「せめぎ合いから立ち上がる身体の人類学研究—ダンス作品の創作現場から」2023年4月～2027年3月
- 関西大学研究拠点形成支援経費採択課題 分担「空間と身体感覚の相互作用にもとづく空間デザインの研究－荒川修作+マドリン・ギンズ「手続き型建築」の形態を探る」2023年4月～2025年3月

地域貢献・社会貢献：

- 2019年～2022年 中高生のための「劇場の学校」プロジェクト舞踊コース講師（公益財団法人 京都市音楽芸術文化振興財団/ ロームシアター京都）
- 2020年 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン（Save the Children Japan）「日本/子どもの虐待防止」メッセージ発信
- 2021年「箕面船場における文化芸術国際交流のまちづくりシンポジウム」パネリスト（大阪府箕面市、大阪大学外国語学部、箕面市メイプル文化財団、箕面市国際交流協会）
- 2021年アートについて考えるドキュメンタリー映画「アートなんかいらない！」インタビュー出演（山岡信貴監督、リタピクチャル）
- 2023年「パフォーマンスキッズ・トーキー」プロジェクト、『○これなんだ』空間演出アドバイザー（特定非営利活動法人 芸術家と子どもたち、公益財団法人 東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、公益財団法人 新宿未来創造財団）
- 2024年 山梨県立美術館VR展示企画シリーズ『LABONCHI』第2弾「まだ解けていないほうの山梨県議」美術家・雨宮庸介VR展示作品、振付アドバイザー（山梨県立美術館）
- 2025年「実務家教員による授業 事例1」（p.3）専門職大学等制度紹介パンフレット2025、執筆協力（文部科学省）



准教授 KODAMA HOKUTO
児玉 北斗

■キーワード 振付（コレオグラフィー）、舞踊美学、パフォーマンス研究
身体コミュニケーションワークショップやダンス作品の創作

■教育研究

・担当科目：専門演習、パフォーミングアーツ概論、身体コミュニケーション実習、ダンスワークショップ実習、舞台芸術実習、身体表現論、舞台芸術論

・本学委嘱委員：入試委員会、芸術文化専攻長

・専門領域

ダンス作品を「振付」という観点から実践的／理論的に考察することを専門とし、振付家として『Pure Core』(2020年)『Wound and Ground』(2022-2025年)などのコンテンポラリーダンス作品を発表している他、舞踊美学の領域で「ダンス作品の存在論」をテーマに研究者としても活動している。

2021~22年度 穂の国とよはし芸術劇場 P L A T「ダンス・レジデンス」滞在アーティスト

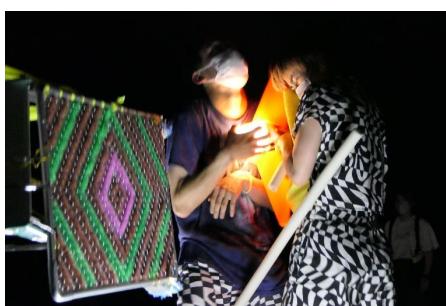
2021~24年度 Dance Box「国内ダンス留学@神戸」講師（西洋舞踊史）

2022年度 愛媛大学文学部 非常勤講師（芸術学特講）

京都芸術大学舞台芸術センター・共同研究プロジェクト「What is able-bodied?—身体表現における“健常”な体についての考察を通したダンスの協働制作（研究代表者：田中みゆき）」、同「老いをめぐるダンスドラマトゥルギー（研究代表者：中島奈那子）」研究メンバー

論文「2000年以降のダンス研究におけるネルソン・グッドマンのノーテーション理論——争点としてのオートグラフィック／アログラフィック——」『第71回美学会全国大会 若手研究者フォーラム発表報告集』美学会、2021年 ほか

・研究の実際



『Wound and Ground』(2022)Photo: Hanabi Takemiya



『Pure Core』(2020) Photo: Kim Sajik



■アピールポイント

2001年より、アルバータバレエ、レ・グランバレエ・カナディアン、ヨーテボリオペラ・ダンスカンパニー、スウェーデン王立バレエなどで国際的に活動。マツ・エック、アレクサンダー・エックマン、ヴィム・ヴァンデケーブスなど世界的な振付家の創作にて主要な役を務めた。JAPON dance projectメンバーとして2014年と2016年の新国立劇場主催公演にて振付・出演、また2017年にトーキョーワンダーサイト本郷で自身初のソロ公演『Trace(s)』、2020年12月にはTHEATRE E9 KYOTOにて『Pure Core』を発表するなど、主体・身体・権力の連関について、ダンサーとしての当事者的な問題意識を基盤とした作品を制作している。2018年、ストックホルム芸術大学修了（MFA in Choreography）。

SUGIYAMA ITARU
准教授 杉山 至



■キーワード 舞台芸術、舞台美術、セノグラフィー
セノグラフィーを活用したワークショップやパフォーマンスの開催、
文化資源や地域伝承等を生かした芸術の視点からの地域活性化、
コミュニケーション・デザインによる地域のリブランディング

■教育研究

- ・担当科目：コミュニケーション演習、舞台芸術実習A～D、舞台芸術基礎実習、舞台芸術入門、
空間デザイン入門、舞台美術論、劇場文化と舞台技術
- ・学内委嘱委員：劇場運営委員会

・専門領域

- 1.国内外での舞台芸術作品におけるセノグラフィー（舞台美術）デザイン。
- 2.セノグラフィー（舞台美術とランドスケープの複合）ワークショップの開催と文化資源を活用したパフォーマンスやイベント等のデザイン・プランニング。
- 3.地域に残存する舞台芸術に関わる文化的文脈を持つ事柄のリサーチと作品づくり。



あさご芸術の森「光と風のページェント」オブジェ



愛知県豊田市「豊田演劇ファクトリー シニア ワークショップ@足助」



演劇引力廣島「わたしのそばの、ゆれる木馬」舞台美術デザイン



養父市 公演「NAGUSAI」美術監修・ワークショップ

■地域貢献・社会貢献

RIC PROJECT：あさご芸術の森美術館「風と光のページェント」事業、淡路・東浦ターミナル活性化協議会等に参加。
埼玉芸術劇場 彩の国シェークスピア・シリーズ2ndvol.1「ハムレット」舞台美術デザイン。
演劇引力廣島 第21回プロデュース公演「わたしのそばの、ゆれる木馬」舞台美術デザイン。
豊田市文化振興財団・演劇ファクトリー事業でワークショップ開催。

■アピールポイント

2024年度地域との交流行事での実績
・あさご芸術の森美術館「光と風のページェント2024」に学生と共にアート作品・イベントデザインで参加。
諸寄活性化委員会との共働。
・セノグラフィーや舞台芸術が得意とするコミュニケーション・デザインの手法で地域の問題等をリサーチし、解決する方法を探る、等。

講師 ISHII MICHIKO
石井 路子



■キーワード 演劇教育、表現教育、コミュニティダンス

教員への表現教育ワークショップ、高等学校への表現ワークショップ（実習）

■教育研究

- ・担当科目：コミュニケーション演習、芸術文化・観光プロジェクト実習、演劇ワークショップ実習、舞台芸術基礎実習、舞台芸術実習、演劇教育入門、演劇教育論
- ・本学委嘱委員：学生生活委員会委員、R&Iセンター委員
- ・RIC PROJECT：高校コミュニケーションWS、明延アートプロジェクト

専門領域

- ・学校教育における表現教育の実践・カリキュラム研究
- ・表現教育科目履修生の実習として、但馬地域高等学校への表現ワークショップ授業の実施
- ・身体表現・ボディワーク、セルフ・ナラティブ作品創作、高校演劇作品創作
- ・コミュニティダンス：但馬地域フラッシュモブ企画



高校生が生きやすくなるための演劇教育
2017/5 いしいみちこ(著)



追手門学院高校表現コミュニケーションコース



但馬地域フラッシュモブ企画 但馬空港促進事業



一円電車祭りアートプロジェクト

■地域貢献・社会貢献



出前 コミュニティダンス



但馬地域フラッシュモブ企画 但馬空港促進事業

■アピールポイント

高校教諭として約20年ほど表現教育を実践してまいりました。目的は、所属コミュニティにおいて人と人とのつなぐことのできる人材を育てること。芸術文化は娯楽をイメージされることが多いですが、芸術文化、表現は、本来人間にとってなくてはならないもの。芸術文化の力を知り、地域や社会のためにその力を駆使できる人を育ててまいります。互いに影響し合っている心と身体の関係について知ることは、自分自身と向き合うことです。そして、身体を通して他者を想像することが、他者や人間を理解することにつながります。自身を考えていく機会を提供してまいりたいと考えています。

KAMATA MAIKO
講師 鎌田 麻衣子 m_kamata@stdat.at-hyogo.ac.jp



- キーワード 演劇教育、応用演劇、インプロ（即興演劇）、演技ワークショップ、ファシリテーション、コミュニケーション

■教育研究

- ・担当科目：知と表現のデザイン1、舞台芸術基礎実習、演劇ワークショップ実習B（1年）
舞台芸術実習AB、演劇教育入門、演劇ワークショップ実習D（2年）
演劇教育論、舞台芸術実習CD（3年）
- ・研究/著作：「役を演じることによる自己認識と社会認識の変容プロセス—高校生の「自己の動搖」に着目した青年期の演劇教育」（博士論文・2022）
『インプロ教育の探究—学校教育とインプロの二項対立を超えて』（新曜社、共著・2024）
- ・本学委嘱委員：広報委員、ハラスメント対策委員

■専門領域

〈経歴〉

玉川大学文学部芸術学科芸術コースを卒業後、神奈川の県立高校（2008～2021）、東京の私立和光高校（2015～2024）において「演劇」の授業の非常勤講師を務める。2011年より東京学芸大学大学院修士課程に進学し2014年3月修了、修士（教育学）。2016年より博士課程に進学し2022年3月修了、博士（教育学）。学位取得後、東京学芸大学教育学部特任講師（2022）、東京学芸大学「芸術表現実践論」非常勤講師（2023）、群馬大学医学部「医系の人間学」非常勤講師（2021～）、日本女子大学人間社会学部社会福祉学科「コミュニケーション論」非常勤講師（2024～）。2025年4月より現職。

〈研究領域〉

1. 演劇教育実践・研究
 - 1) 高等学校の授業「演劇」の教育実践（～2024）
 - 2) 教員養成系大学における演劇教育、演劇ワークショップの教育実践及び研究（2022～2023）
 - 3) 医療・福祉系大学/学部における「コミュニケーション」授業の実践及び研究（2021～）
 - 4) 演劇教育の理論研究
2. ワークショップ実践・研究
 - 1) 演劇ワークショップ、インプロワークショップの実践（2011～）
 - 2) ワークショップ及びファシリテーターの理論及び実践研究
3. 応用演劇及び演劇の実践・研究
 - 1) 様々な分野で行われる応用演劇の理論及び実践研究
 - 2) 演技及び俳優養成の歴史・理論研究



■地域貢献・社会貢献

- ・RIC高校ワークショップ事業ファシリテーター（豊岡、豊岡総合、日高、和田山、近大豊岡等、2025年4月～）
- ・RIC但馬地域自治体職員向け政策づくり研修講師（2025年7、8月予定）
- ・日高高校教員研修講師（2025年8月予定）
- ・日高高校看護科専攻科生向け「人間関係論」講演（2025年10月予定）
- ・小田原市三の丸ホール「劇場留学」事業評価委員（2025年5月～）
- ・日本演劇学会分科会演劇と教育研究会運営委員（2024年7月～）



■アピールポイント

これまで主に教育現場で、演劇に初めて出会う生徒・学生を対象に演劇教育の実践をしてきました。これからは教育現場にかかわらず、地域社会の中でも、様々なバックグラウンドを持つ人々と出会い、演劇あるいは身体的な表現活動を通した語り合いの場、学び合いの場を創造できたらいいなと思っております。どのような現場にも出向きます。但馬地域の多くの人と出会いたいと思っております。

KAWAMURA TATSUYA

講師 河村 竜也 t_kawamura@stdat.at-hyogo.ac.jp



■キーワード 演劇、俳優、舞台芸術、フェスティバル、プロデュース、アートマネジメント、国際共同制作、劇場文化

■教育研究

・担当科目：芸術文化・観光プロジェクト実習1～4、舞台芸術基礎実習、舞台芸術実習A～D、舞台芸術入門、劇場文化と舞台技術

・本学委嘱委員：実習支援センター委員、劇場運営員会委員

・研究事例

◆舞台

- ・【出演】「東京ノート」：青年団、作・演出：平田オリザ
- ・【出演】「日本文学盛衰史」：青年団、作・演出：平田オリザ
- ・【出演】「砂と兵隊」：青年団国際交流プロジェクト（日仏）、作・演出：平田オリザ
- ・【出演】「MONTAGNE/山」：日仏共同制作 作・演出：トマ・キヤルデ
- ・【出演・プロデュース】「珈琲法要」：ホエイ、TGR札幌劇場祭大賞受賞
- ・【出演・プロデュース】「郷愁の丘ロマントピア」：ホエイ、第63回岸田國士戯曲賞最終候補 他多数

◆映画

- ・【出演】「歓待」、「東京人間喜劇」、「SHARING」



「珈琲法要」 ©Nagare Tanaka

舞台 【出演・プロデュース】ホエイ「珈琲法要」

舞台 【出演・プロデュース】ホエイ「郷愁の丘ロマントピア」



©igaki photo studio

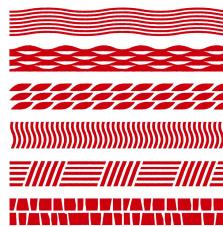
舞台 【出演】「MONTAGNE/山」：日仏共同制作



「ジェファソンの東」

映画「歓待」出演 深田晃司監督

映画「ジェファソンの東」出演 深田晃司監督



豊岡演劇祭 プロデュース

豊岡演劇祭
2025

■地域貢献・社会貢献

豊岡演劇祭のプロデュース、KDDIとの高精度GNSS測位による音声ARを活用した音声ARオーディオガイド造成事業、新規就農希望者に訴求するブランディングムービー作成業務、JR西日本観光列車「うみやまむすび」演劇列車を活用した文化観光コンテンツの造成事業、JICA発展途上国向け訪日研修における協力事業

■アピールポイント

豊岡演劇祭のプロデュース業務、舞台芸術作品の制作（国際共同制作含む）業務の実績

HIRATA TOMOYUKI

講師 平田 知之

tomo3@stdat.at-hyogo.ac.jp



- キーワード コミュニケーション教育、ファシリテーション、演劇的手法、学力向上、国語教育、協働学習、職員研修

■教育研究

担当科目：知と表現のデザイン（アカデミックライティング）、演劇ワークショップ演習、演劇教育入門、演劇教育論

■専門領域

わが国の演劇的手法を活用した研修・学習活動の展開

博報堂 児童教育実践についての研究助成 2022～2023

「演劇的手法を用いたコミュニケーション教育の地域全体への展開と中期的効果検証」

科学研究費 基盤研究（C） 2024～2026

「初等中等教育の演劇関連教育の見取り図作成と教育課程への位置づけのための調査研究」

■地域貢献・社会貢献

◎現在のしごと 主に学校での学習者を主体にしたワークショップ型学習支援・研修支援

☆高等学校☆

- ① 但馬地域全高校などのコミュニケーションワークショップ コーディネーター、ファシリテーター（2021～）
- ② 県立豊岡総合高校 学校設定科目「演劇表現」 講師（2023～）
- ③ 県立豊岡高校 学校評議員（2021～）

☆中学校

- ① 豊岡市中学校教育研究会支援事業 指導助言者（2023～）
- ② 兵庫県立大学附属中学校 学校設定科目「コミュニケーション」講師（2021～）

☆専門学校 八鹿看護専門学校 非常勤講師（「人間関係論」）（2022～）

☆小学校 豊岡市立小学校「非認知能力向上事業」でのフィールドワーク研究

★その他 文化が活きる京都推進審議会 委員（2024～）、単発の講演、ワークショップなど

○過去のしごと

文部科学省「コミュニケーション教育会議」WG委員、文部科学省「ワークショッピーラー人材育成事業」運営

■アピールポイント

学習を、孤独に知識を蓄積する作業から、共同体への参加体験を通じた創発へ変化させるお手伝いをします。

FUKASAWA NATSUMI

講師 深澤 南土実



■キーワード

身体表現、バレエ・ダンスの歴史や創作の背景、パフォーミングアーツとテクノロジー

■教育研究

・担当科目

パフォーミングアーツ概論、舞台芸術入門、ダンスワークショップ実習D、身体コミュニケーション実習、舞台芸術実習A~D、芸術文化・観光プロジェクト実習1~4

・本学委嘱委員

学生生活委員、ハラスマント対策委員

研究・教育などの実績 (主に2020年以降)

《振付・ダンス》

・東京藝術大学 AI Beethoven Online concert 『Beethoven Complex』 (2020)

・東京藝術大学 Art of Body Motion project 『The Flower of Fate』 (2022)

《単著》

『バレエ・デ・シャンゼリゼ：第二次世界大戦後フランス・バレエの出発』法政大学出版局, 2020

《論文》

・深澤南土実「舞台上のダンスと映像—映像とのインタラクションを重視したダンス」『芸術文化観光学研究』第3号, pp.167-173, 2024.

・鈴木範之、阪まどか、宮崎真利子、深澤南土実「明治初期のピアノ導入の経緯を探る—幼児教育、体操教育、音楽教育、楽器産業の視点から—」『教職実践研究』第7号, pp.17-33, 2023

・Shuntaro Yoshida, Natsumi Fukasawa "How Artificial Intelligence Can Shape Choreography: The Significance of Techno-Performance" Performance Paradigm 17, pp.67-86, 2022

《口頭発表》

・Natsumi Fukasawa "Practical Integration of Dance and Digital Technology in Japan." International online conference as part of the Priority 2030 strategic academic leadership program "DIGITAL-TRANSFORMATION VS VAGANOVA'S LEGACY", 2022

・吉田駿太朗、深澤南土実「コロナ禍の日本における人工知能を用いた振付作品の創作過程とテクノパフォーマンスの意義：『ベートーヴェン・コンプレックス』を事例に」舞踊学会第25回定例研究会, 2022

■社会貢献活動

2024年度

・京都精華大学 身体文化演習 ゲスト講師

・大阪公立大学「未来の博士育成ラボラトリー」デジタルアート&ダンスワークショップ講師

・若手研究者による教養講座『文化・芸術ビギナーズラボ』講師

「近現代バレエとパリーバレエ・リュスとバレエ・デ・シャンゼリゼ」(東リいたみホール)

・芸術文化観光専門職大学 パフォーミング・ライブラリー企画トークイベント

「語り継がれる踊り：黒沢美香とは誰だったのか？」

(芸術文化観光専門職大学学術情報館)企画・司会

・CAT教養講座「はじめてのコンテンポラリーダンス」講師

単著

『バレエ・デ・シャンゼリゼ：第二次世界大戦後
フランス・バレエの出発』
法政大学出版局(2020)

講師 YAMAUCHI KENJI
山内 健司 k-yamauchi@stdat.at-hyogo.ac.jp



■キーワード 俳優、演技、他者理解

■教育研究

- ・担当科目：コミュニケーション演習、演劇ワークショップ実習A・C、演技論、舞台芸術基礎実習、舞台芸術実習A・B・C・D
- ・本学委嘱委員：広報委員会

■専門領域

1.「表現の先端を伸ばす」

俳優として、演技の実践において、表現の先端を伸ばす。リアリズムからコンテンポラリーな作品、国際共同制作まで、幅広い舞台・映像作品における演技、街や人と直接関わる劇場の外での上演作品における演技に取り組む。

2.「豊かさを誰でも味わえるようにする」

私たちが話してたる姿そのものが本来豊かである。その豊かさを演技の視点から発見し『体験』するワークショップやプロジェクトなどの『場作り』に取り組む。

3.「演技の言葉を整理する」

すべての人にとって演技を語る言葉が近くあるために、演技をめぐる言葉の歴史的な複雑さの解消を目指し、専門的な知へのアクセスをよくする。



高校コミュニケーションWS



平成二十二年度文化庁文化交流使として全編仏語一人芝居『舌切り雀』をヨーロッパ各地の小学校で単身上演

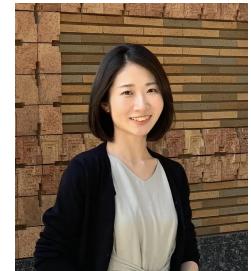
■地域貢献・社会貢献

- ・RIC事業：但馬地域の全高校にて、コミュニケーション・ワークショップを実施。
- ・国内各地で「しゃべり言葉を調べるワークショップ」「聞き演じワークショップ」の実施。
- ・一人芝居、二人芝居の上演などで演劇作品を身近に。

■アピールポイント

集団で相談しながら進めるプロジェクト（探求学習など）では、議論や合意形成の技術、ロジカルな思考ももちろんですが、その最初のボタンを掛ける前提として、安心できるチーム作りが大切です。そこに自覚的に取り組むワークショッププログラムを実施しています。その核心部となる「他者へのリスペクト」「自分自身へのリスペクト」を俳優の演技の視点から獲得していくプログラムです。そして、私たちが自身を開示する言葉を通じて、私たちの身体に蓄積された地域の文化や時間を発見します。

OKAMOTO HIKARU
助教 岡元 ひかる



■キーワード コンテンポラリーダンスおよび舞踏（暗黒舞踏）の稽古、振付における言語使用、ダンスの空間論

■教育研究

担当科目 身体表現論、舞台芸術実習、海外実習B（ドイツ）、観光プロジェクト実習、舞台芸術基礎実習
論文

- * 「諸可能性が踊られる空間－岩渕貞太のメソッドに着目して－」『芸術文化観光学研究』第3巻、2024年
- * 「土方巽の舞踏における「危機」の実践と思想」博士論文、神戸大学大学院、2022年
- * 「舞踏訓練「虫の歩行」における身体経験の再検討－土方巽の弟子・正朔の実践に注目して－」『舞踊學』第42号、2019年
- * 「GAGAにおける「慣習の変更」の具体的実践：動きの方向性・身体の分節化を中心に」『神戸大学大学院人間発達環境学研究科研究紀要』第11巻第2号、2018年（共著・筆頭著者）

書評、公演評

- * 「TARB書評：宇野邦一『土方巽 衰弱体の思想』」Tokyo Academic Review of Books ウェブサイト、2022年
- * 「脱文脈化の手前で マルコ・ダ・シウヴァ・フェレイラ『CARCAÇA』公演評」、ロームシアター京都Webマガジン『SPIN-OFF』、2025年

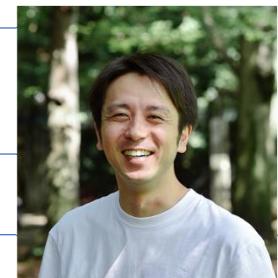
口頭発表等

- * 「土方巽と言葉：書くこと、語ること、踊ること」京都芸術センター、一般社団法人ダンスアンドエンヴァイロメント主催「つくるための書くこと」講座・イベントミニレクチャー、2024年
- * 「ドラマトゥルク・ミーティング」（企画代表者：中島那奈子）パネリスト・WSファシリテーター、2024年
- * アートエリアB1 開館15周年記念 鉄道芸術祭vol.0～10「リ・クリエーション2～展覧会の記録からはじまる未来～」クロージングイベントパネリスト、2024年
- * 「従順な身体からの「解放」はいかに目指されたのか－暗黒舞踏の事例に着目して－」神戸大学国際文化学研究科地域連携センター主催セミナー/神戸大学国際文化学推進インスティテュート共催「戦後日本における身体の表象－「解放」の出発点と現在」、2023年
- * "Body without Organs" and time consciousness in dancing Butoh –A case study of Yamamoto Moe's dance in "Wings of Castle" (1978), Dance Studies Association Annual Conference 2022

■社会貢献・芸術活動

- * 増川建太振付作品『指で触れ火にかけかき混ぜ／る振付のレシピ にんじん断面指なぞりショー』ドラマトゥルク（2025年2月京都芸術センター初演）
- * 「ドラマトゥルクミーティング ブレイベント ピル・ハンセン『Performance Generating Systems in Dance: Dramaturgy, Psychology, and Performativity』を読む」企画・ファシリテーター、2024年
- * NPO法人DANCE BOX「ダンス国内留学@神戸 9期」 講師（日本舞踊史概論）、2023年

助教 TANOUYE YUTAKA
田上 豊 y-tanouye@stdat.at-hyogo.ac.jp



■キーワード 劇作、演出、創作、ワークショップ、地域連携、コミュニティアート

■教育研究

- ・担当科目：演劇ワークショップ実習A、C、舞台芸術実習A～D、
芸術文化・観光プロジェクト実習1～4、舞台芸術基礎実習
- ・本学委嘱委員：入試委員、ハラスマント対策委員
- ・RIC PROJECT：但馬地区全域・高大連携コミュニケーションWS、
養父市名草神社保存修理工事完成式イベント「NAGUSAI」、
小規模特認校活性化事業、市役所職員向け新人研修、
豊岡市ジュニアプレカレッジ（特別支援学校WS）、
植村直己「星のクライマー」事業、芸術鑑賞会用演目創出事業、
近隣県中高対象コミュニケーションWSなど



舞台芸術実習 (TYT) 2024

■専門領域

1. 演劇関連

- WSプログラム開発：表現ワークショップ、芸術×他業種ワークショップのプログラム開発
- ファシリテーター育成：ファシリテーションの研究と研鑽、リテラシー向上のための研修
- 芸術鑑賞会用演目創出：Tajima Youth Theater (TYT) 「Q学」など
- 芸術×観光：芸術と観光の融合演目やWSの開発、架橋共同研究と展開
- 演劇教育：演劇教育研究、但馬地域における演劇教育の普及と実施内容の研究

2. 地域連携

- 創作活動：多角的な表現活動（WSや創作を起点とした）の場と機会の創出
- 地域とのマッチング：教育機関や地方自治体、企業との共同イベントやWS
- アウトリーチ事業：アートプロジェクト等のディレクション、地域劇場との連携事業など



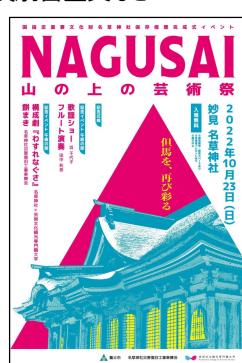
NAGUSAI 2024

■地域貢献・社会貢献

教職員向け研修、たじま児童劇団、高校演劇審査員など



Tajima Youth Theater 「Q学」



NAGUSAI2022



観光列車×演劇

■アピールポイント

R6年度は、実習科目（舞台芸術実習）で創作したユース向け演目を上演した。

奈良市主催のアートプロジェクトのディレクターを務め、市民参加型のオリジナル演劇を創作。
豊岡演劇祭2023、2024では観光列車を利用した演劇作品を上演。

一般財団法人地域創造リージョナルシアターシリーズ派遣アーティスト、奈良市アートプロジェクト舞台芸術部門ディレクター、
富士見市民文化会館キラリふじみ芸術監督（2019～2021）、**2025年度より江原河畔劇場芸術監督**。



02



アートマネジメント

古賀 弥生	-----	18
今井 祐子	-----	19
大野 はな恵	-----	20
尾西 教彰	-----	21
李 知映	-----	22
井原 麗奈	-----	23
小林 瑠音	-----	24
近藤 のぞみ	-----	25

02
教授

KOGA YAYOI
古賀 弥生

yayoikoga@stdat.at-hyogo.ac.jp



■キーワード 文化政策学、アートマネジメント

社会包摂型の芸術体験活動に関するコーディネート、参加型芸術活動におけるコーディネーターの育成。文化ホール等の事業企画や運営に対する地域人材の育成。自治体の文化振興条例、計画、ビジョン等の策定

■教育研究

・担当科目：文化政策概論（1年）

地域コミュニティ論・地域創生論・地域創生実習（2年）

文化政策実習・専門演習（3年）総合演習（4年予定）

・研究・著作：文化政策の潮流と社会包摂型文化芸術事業の実践～実践活動と政策形成の架橋に向けて～ (単著 九州産業大学地域共創学部『地域共創学会誌』第8号2022/03)

演劇ワークショップによるコミュニケーションへの影響～フリースクールでの実践事例から～

(共著 九州大谷研究紀要[開学 50 周年記念号]2022/03)

芸術文化と地域づくり～アートで人とまちをしあわせに～ (単著 九州大学出版会2020/03)

・大学運営実績：副学長兼学部長

■専門領域

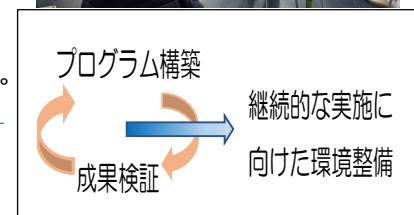
1. 社会包摂型地域社会の構築への芸術文化による関与のあり方に 関する研究

- 1) パーキンソン病患者のダンス活動の実践と成果検証
- 2) 社会的処方と芸術文化活動の連関に関する実践活動
- 3) 演劇ワークショップ等による子育て支援、高齢者支援活動の
プログラム構築



2. アートマネジメント人材養成

文化施設等における人材養成講座の企画立案に関する助言、講師等。



■地域貢献・社会貢献

(2024年度実績)

- ・福岡県春日市ふれあい文化センター「アートマネジメント人材養成講座」
企画立案、講師
- ・アルカス佐世保（長崎県）、熊本県公立文化施設協会県北ブロック、福岡県大牟田市ほか、アートマネジメント及び芸術文化のまちづくりに関する研修・講演講師
- ・「豊岡でパーキンソン病と暮らす方の交流会」開催（豊岡保健所、一般社団法人ダンストーク、一般社団法人パラダンスとの連携）
- ・兵庫県立ピッコロ劇団企画運営委員会委員、公立豊岡病院倫理委員会委員

■アピールポイント

福岡で芸術文化を地域をつなぐ実践と研究を両輪として20年活動してきました。2022年4月、本学に着任。但馬でも、元行政職員、アートNPO代表の経験から、芸術文化による地域活性化、芸術文化と地域をつなぐ人材養成などのお手伝いをしたいと思っています。乳幼児から高齢者まで、すべての人に芸術文化の力を届けます。

教授 IMAI YUKO
今井 祐子 y-imai@stdat.at-hyogo.ac.jp



■キーワード

陶磁史、近代美術史、ジャポニスム、日仏文化交流史
セーヴル磁器、万国博覧会、アートマネジメント

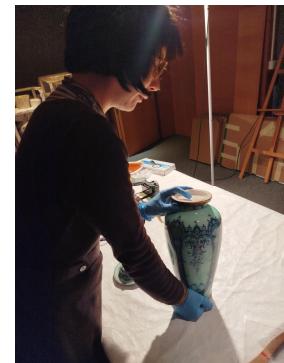
■教育研究

- ・担当科目：芸術学（1年）、美術史、世界を知るB、劇場プロデュース実習1（2年）
専門演習（3年）、総合演習（4年）
- ・著作：『陶芸のジャポニスム』（名古屋大学出版会、2016年）
Research on Sèvres New Hard-Paste Porcelain: Based on the Relationship with Chinese Porcelain, private edition (Report of the Research Subsidized by the Japan Society for the Promotion of Science), 2022.
- ・大学委嘱委員：学術情報委員会委員



■専門領域

- ・文化財としての陶磁調査
- ・2018年、セーヴル陶磁都市でセーヴル磁器に関する共同研究を実施



■競争的資金・共同研究等の研究課題

- ・「ビングと蜷川式胤を巡る陶芸のジャポニスムに関する研究」
(2005～2007年度)
- ・「近代フランスにおける陶磁研究とシャンフルーリ」(2008～2011年度)
- ・「19世紀セーヴル国立磁器製作所における技術開発と東洋陶磁」
(2012～2017年度)
- ・共同研究「セーヴルの新硬質磁器に関する研究」(2017～2019年度)
- ・「セーヴルの新硬質磁器と盛絵具装飾」(2021～2025年度)

カンペール美術館での作品
調査風景 2025年3月

■講演会・セミナー等のテーマ

- ・「動き出した陶芸のジャポニスム：フランスの事例を中心に」(2009年7月、京都国立博物館夏期講座)
- ・「印象派陶磁器をその周辺」(2014年7月、岐阜県現代陶芸美術館)
- ・「陶芸のジャポニスムとセーヴル」(2017年6月、近代国際陶磁研究会)
- ・「陶芸のジャポニスムにおける北斎受容」(2017年11月、国立西洋美術館)
- ・「陶芸のジャポニスム：蜷川式胤『観古図説 陶器之部』の影響」(2018年2月、ジャポニスム学会)
- ・「フランスにおけるジャポニスムと陶磁器」(2022年7月、アリアンス・フランセーズ愛知)
- ・「フランス陶磁器の世界」(2022年8月、早稲田大学エクステンションセンター)
- ・「セーヴルの新硬質磁器と青磁釉」(2024年10月、セーヴル陶磁美術館友の会)

■地域貢献・社会貢献

- ・福井県陶芸館・越前古窯博物館展示資料審査委員（2016年6月～現在）

■アピールポイント

福井大学での21年間の勤務を経て、2025年4月に本学に着任しました。福井大学では、国際交流会館、県立図書館、福井市中央公園等で行う、地域と連携した学生主催の文化イベントの企画・運営に関する指導を経験しました。但馬では、美術工芸品を活用した地域活性化に関わる仕事のお手伝いがしたいです。

准教授 ONO HANAE
大野 はな恵



■キーワード 文化政策、音楽教育、社会包摂、芸術文化の評価、
地域実践と担い手育成

- ・舞台芸術を通じた教育・福祉分野への接続
- ・芸術文化事業の評価指標・効果測定
- ・地域における担い手支援、子どもの参画・表現に関する文化的権利の実践研究

■教育研究

- ・担当科目：アートマネジメント概論、文化政策概論、舞台芸術論
音楽文化論、ドイツ実習、劇場プロデュース実習、専門演習、卒業研究
- ・主な研究テーマ
舞台芸術を通じた教育・社会包摂の可能性に関する研究
芸術文化における評価手法と政策との接続に関する実践的研究
英国ロイヤル・オペラ・ハウスやスコットランドの文化政策に関する比較調査

- ・主な著作・論文
- ・「劇場が切り拓く学校との文化的対話：子どもたちのアクセス拡大に向けて」
ロームシアター京都紀要（2025）
- ・「文化支援事業における連携と多層的価値創出：
チャーム・ケア・コーポレーション『アートギャラリー・ホーム』の事例から」
メセナアソシエイトレポート（2025）
- ・「フェスティバルのインパクトに関する一考察：
フェスティバルズ・エディンバラにおける調査の変遷から見る手法と意義」
津田塾大学紀要（2021）
- ・『オペラ／音楽劇研究の現在』（水声社、2021）分担執筆
- ・「子どもと共につくる劇場のかたち：『子どもの参画』はいかにして展開されうるか」
ロームシアター京都 リサーチプログラム紀要（2019）



『オペラ/音楽劇研究の現在』 共著

■地域貢献・社会貢献

- ・公益社団法人企業メセナ協議会「メセナアソシエイト」（2024-）
- ・目黒区芸術文化振興計画改定懇話会 委員（副座長）（2024-）
- ・目黒区文化ホールおよび目黒区美術館 指定管理者運営評価委員（副座長）（2024-）
- ・文化庁「日本博2.0」事業 外部評価・助言（2024-）
- ・東京大学先端科学技術研究センターとの連携による
人材育成・ソーシャルイノベーション研究（2023-）
- ・立川市文化振興推進委員会 委員（2019-2023）
- ・早稲田大学 総合研究機構 オペラ／音楽劇研究所 運営委員（2018-2023）
- ・子ども・若者向け芸術体験事業「Creating Original Opera」
共同企画・講師（2017-）



オペラ創作プログラムの企画・実施

■アピールポイント

劇場や公共ホール、福祉施設、教育機関と連携しながら、芸術文化を通じた学びと参加の仕組みづくりに取り組んでいます。現場の実践と制度の間をつなぎ、文化事業の意義や影響を丁寧に可視化することで、持続可能な政策設計や担い手育成に貢献することを目指しています。

准教授 ONISHI NORIAKI 尾西 教彰 n_onishi@stdat.at-hyogo.ac.jp



■キーワード アートマネジメント、文化施設、演劇学、芸能史

劇場・文化ホールの事業企画・運営、舞台芸術人材の養成、地域演劇・芸能の振興

■教育研究

- ・担当科目：文化施設運営論（2年）、専門演習（3年）、総合演習（4年）
芸術文化・観光プロジェクト実習（1年・2年）、舞台芸術実習（2年・3年）
劇場プロデュース実習（2年・3年）、総合芸術文化実習（4年）

- ・（学内）教務委員、キャリアサポートセンター委員
(学外) 日本演劇学会企画運営委員、和歌山城ホール指定管理者選定委員会委員（ほか）

・専門領域

- ①文化施設における社会包摶に向けた企画・運営の推進、文化資源の活用
- ②住民ニーズ、将来の地域像・必要コスト等を考慮した文化施設の有効活用、活性化の推進
- ③舞台芸術に係る知識・技術の普及・浸透による、地域の文化リーダー、豊かな地域コミュニティの創出

《研究活動》

- 大阪大学文学部および同大学院文学研究科の演劇学専修を修了。（修士（文学））
- ・大学生時代は古典芸能（特に能楽・狂言）の歴史・台本研究を行い、舞台出演も経験。
<卒業論文>『狂言における「秘曲」の展開－「釣狐」の主題の変遷を巡って－』
- ・大学卒業後、兵庫県立の劇場に勤務。現場実務の経験をもとに、地域の公立文化施設における舞台芸術創造、特に人材育成事業を通じたコミュニティづくりの可能性について、社会人大学院生として研究。
<修士論文>『公立劇団の活動における（地域）意識の変容－兵庫県立ピッコロ劇団の活動を通じて－』

《職歴》

- 平成8年7月、現・公益財団法人兵庫県芸術文化協会に入職。昭和53年開館された兵庫県立尼崎青少年創造劇場（ピッコロシアター）において、演劇教育専門員として勤務。令和4年3月退職。

《主な実務経験》

- 鑑賞事業、文化セミナー、市民参加型イベントなど、劇場事業全般。特に、舞台芸術の学びを通じて地域文化を支える人材の育成を目指す「ピッコロ演劇学校」（昭和58年開設）・「ピッコロ舞台技術学校」（平成4年開設）、さらに人材育成事業の集大成として設立された、全国初の県立劇団「兵庫県立ピッコロ劇団」（平成6年旗揚げ）の企画制作を中心に関わる。



■アピールポイント

平成21年度文化庁新進芸術家海外研修制度（アートマネジメント分野）特別派遣研修員。
西豪州の地方都市パースから世界的に活躍する演劇人を輩出する西豪州立舞台芸術アカデミー（The Western Australian Academy of Performing Arts）で研修。豪州における舞台芸術の創造環境・人材育成について滞在調査。卒業生の動向調査等をもとに、公立による舞台芸術教育のあり方や意義、地域振興との関わりについて研究。

講師 LEE JIYOUNG 李 知映 jinbangul@stdat.at-hyogo.ac.jp



■キーワード 文化政策学、文化経営学、演劇学、文化資源学
国の文化政策及び各自治体の芸術文化振興、芸術文化とまちづくり、文化施設を取り巻く社会環境、各文化施設のより良い運営

■教育研究

1. 担当科目

韓国語（1年）、舞台芸術入門（2年）、世界の文化政策（2年）、文化産業論（3年）、文化政策実習（3年）

2. 研究

- 1) JSPS科学研究費助成事業（基盤研究(B)（一般））「平成の日本の文化政策と文化政策関連研究の検証」（研究分担）
- 2) JSPS科学研究費助成事業（基盤研究(C)（一般））「東アジアにおける近代劇形成の比較研究」（研究分担）
- 3) JSPS科学研究費助成事業（基盤研究(B)（一般））「芸術文化と観光と地域ケアのリソース総合文化政策によるウェルビーイングの実現」（研究分担）
- 4) JSPS科学研究費助成事業（基盤研究(C)（一般））「インターンシップによる文化観光人材の育成に向けた実践的研究」（研究分担）

3. 著作

- 1) 李知映「舞台芸術の産業化」、単著、松本茂章編『はじまりのアートマネジメント』新訂版、2025年2月、水曜社、202～216頁。
- 2) Jiyoung Lee *The Value and Utilization of Modern Cultural Heritage in Korea* Nobuko Kawashima, Guido Ferilli編 *Cultural Heritage in Japan and Italy: Perspectives for Tourism and Community Development* Springer 2024年4月 p.81～p.97
- 3) 李知映「芸術家の福祉政策－韓国事例を中心に」、単著、小林真理編著『文化政策の展望』、2018年4月、東京大学出版会、136～160頁。
- 4) 李知映「文化政策のパラダイム変化－創作者中心から享受者中心へ－韓国を事例に」、単著、小林真理編著『文化政策の諸相』、2018年3月、東京大学出版会、3～16頁。
- 5) 李知映「植民地朝鮮の演劇と検閲」、単著、小林真理編著『文化政策の思想』、2018年2月、東京大学出版会、19～33頁。
- 6) 李知映「小劇場演劇の真髄を知る9名の演劇人への特別インタビュー」、「32年間の公演年表」、李知映、金世一、沼上純也編著『TINY ALIE IN WONDER YEARS[1983.04-2014.03]小劇場タイニイアリスのゆりかごから』、2015年3月、芸術新聞社

他

■地域貢献・社会貢献

- ①平成31年4月～令和3年3月：「武蔵野市の文化を考える市民の会」委員
- ②令和5年9月～令和6年3月：「京丹後市万博ロードマップ検討会」委員
- ③令和5年9月～令和7年12月：「京丹後市大阪・関西万博推進協議会」委員
- ④令和7年3月～選定終了まで：東京都杉並区立杉並芸術会館指定管理者候補者選定委員
- ⑤日本文化政策学会理事、韓国地域文化学会編集委員

他

IHARA RENA
講師 井原 麗奈



02

- キーワード 近代文化史、文化施設の研究、アーツマネジメント
文化施設、文化財調査

- 教育 担当科目：アートマネジメント概論（1年）、
劇場プロデュース実習（2・3年）、文化政策実習（3年）、
総合芸術文化実習（4年）

■研究の概要

- 1：文化施設、文化財調査：戦前期に設置された公会堂の研究
2-1：アーツマネジメント（音楽以外の分野）：伝統芸能、現代美術、文芸系のアーティストと連携したワーク
ショッピング、講演会、展覧会などの運営（京都芸術センター、神戸大学、静岡大学などの実績）
2-2：アーツマネジメント（音楽）：「有限責任事業組合アンサンブル・ラロ、ジャパン」の経営。
[事業内容]・音楽公演の演奏請負・個人、団体に対する音楽の演奏指導・演奏家のマネジメント
・コンサートの企画、運営、広告、宣伝、事務代行・文化・芸術に関する調査、研究、人材育成等

■研究事例

主な投稿論文・研究ノート

- 「植民地期朝鮮の公会堂に対する支配権力の認識について—都市における設置状況と運営主体を中心に—」2013年/日本文化政策学会学会誌「文化政策研究」第6号 (P.19-P.34)
- 「大阪市中央公会堂貴賓室（特別室）の天井画・壁画の公共性に関する考察」2014年/日本アートマネジメント学会学会誌「アートマネジメント研究」第15号 (P.16-P.28)
- 「戦前期の行幸啓からみる公会堂の公共性」2015年/日本文化政策学会学会誌「文化政策研究」第8号 (P.79-P.93)
- 「公会堂と「社交」—戦前期における利用者の社会階層を視点として—」2015年/日本アートマネジメント学会学会誌「アートマネジメント研究」第16号 (P.24-P.35)
- 「公会堂にみる「公」と「私」の境界線」2015年/神戸女学院大学紀要「論集」第62巻第2号 (P.41-P.59)
- 「京都市岡崎公会堂:文化の中心としての役割について」2016年/日本文化政策学会学会誌「文化政策研究」第9号 (P.84-P.97)
- 「台湾における近代文化の保存と継承—公会堂を中心としたフィールドワークに基づいて」2017年/日本文化政策学会学会誌「文化政策研究」第10号 (P.123-P.131) 共著
- 「旧小樽区「公会堂使用決裁簿」」(大正9~13年度)の史料的価値について」2018年/日本アートマネジメント学会学会誌「アートマネジメント研究」第17.18合併号 (P.24-P.35)
- 「日本期の南サハリンの公会堂に関する調査」2020年「静岡大学 地域創造教育研究」創刊号 (P.1-P.10)
- 「植民地期朝鮮の公会堂における近代的催事の市民の享受の実態について～新義州・木浦・春川の事例を中心に」2022年/芸術文化観光専門職大学紀要「芸術文化観光学研究」創刊号 (P.109-121)
- 「植民地期朝鮮の公会堂における近代的催事の市民の享受の実態について～仁川・釜山・群山の事例を中心に」2023年/「日本文化政策学会学会誌「文化政策研究」第16号 (P.7~P.19)
- 「植民地期朝鮮の公会堂における近代的催事の市民の享受の実態について～平壤・大邱の事例を中心に」2023年/「芸術文化観光学研究」第2号 (P.156-170)

■社会貢献

- 一社) アートをコアとしたコミュニケーションデザイン大学コンソーシアム理事 2022年度～現在
東京都江戸東京博物館外6施設指定管理者評価委員会委員 2021年度～現在(東京都生活文化局)

■アピールポイント

- 学外文化施設・団体からの依頼（公演評執筆）
・城崎国際アートセンター『結婚式』ご出席・ご欠席・ワークインプログレス：<http://kiac.jp/article/2505/>
・城崎国際アートセンター『ENCORE-Mer.』：<http://kiac.jp/article/2657/>
・演劇最強論-ing『琉球楽劇の創始者 玉城朝薫が紡いだ歌舞』：
https://www.engekisaikyoron.net/epad2024_review001

- 2：学外組織と連携したアーツマネジメント

ピアノ四重奏団アンサンブル・ラロのコンサートツアー（依頼公演：西条、大垣、大船渡、大津、札幌、静岡、東京等）のオーガナイズ、国内外の演奏家のマネジメント、ステージマネージャー。

講師 KOBAYASHI RUNE
小林 瑠音

■キーワード 文化政策、現代アート、アートマネジメント

英国アーツカウンシル史、コミュニティ・アート史、
地域密着型アートプロジェクトの実践と評価



■教育研究

1. 担当科目

世界の文化政策、企業メセナ論、現代アート論、アートキャリア英語、
芸術文化・観光プロジェクト実習1～4、文化政策実習

2. 研究

- 1) JSPS科学研究費助成事業（若手研究）
「英国コミュニティ・アートの再検討：歴史的変遷と国際的影響」（研究代表）
- 2) JSPS英国との国際共同研究プログラム（JPR-LEAD with UKRI）
「持続可能な文化の将来：コロナウィルスと文化政策の再設定」（分担者）

3. 本学委嘱委員

学術情報委員会



■専門領域

2023年3月公刊（水曜社）

1. 文化政策：英国アーツカウンシル史、事業評価、芸術分野の労働環境

- 1) 英国アーツカウンシル史：アーツカウンシル制度（芸術事業の助成や評価を行う専門機関）のモデルとなっている英国アーツカウンシルの歴史的変遷と日本への応用可能性に関する研究
□ 小林瑠音（2023）『英国のコミュニティ・アートとアーツカウンシル：タンポポとバラの攻防』水曜書
- 2) 芸術の社会的インパクト評価、コロナ禍の文化政策と芸術家の社会保障に関する国際比較
□ 小林瑠音（2014）「英国における芸術の社会的インパクト評価に関する基礎的考察—政策的背景と評価手法—」『文化経済学』第11巻第1号、pp. 8-17.
□ 小林瑠音、佐野直哉（2024）「コロナ後の日本の文化政策再構築に向けた中間支援機能の役割：日英共同研究成果報告を中心に」文化経済学会（口頭発表）

2. 現代アート：コミュニティ・アート史、地域密着型アートプロジェクト

- 1) コミュニティ・アート史：英国の事例を中心に、社会経済的困窮地区の住民を主体とした芸術活動の歴史と文化政策の影響に関する国際比較研究
□ 小林瑠音（2019）「アーティスト・プレイスメント・グループ（APG）：60年代後半から70年代ロンドンのソーシャル・プラクティス」『アーティスト×仕事』HAPS（東山アーティスツ・プレイスメント・サービス）
- 2) 地域密着型アートプロジェクト：過疎高齢化対策や地方再生を目的とした芸術祭の事例研究
□ Kobayashi, R (2017)「The Role of Art Projects for the Aging Society of Japan in the Context of Rural Regeneration – Entering a new era of asking why we need art projects?」『Cultural Policy for Regeneration of Small Urban Cities; Germany, Central Europe and Japan』Japanese-German Center Berlin, pp. 101-124.

3. アートマネジメント：子どもとアート

- 1) 子どもとアート：大阪の小劇場應典院を会場にした子どもと大人のアートフェスティバル「キッズ・ミート・アート」の企画・運営および幼児教育や教育哲学の専門家との共同研究。

■アピールポイント

應典院アートディレクター（2011-2015）、大阪府立江之子島文化芸術創造センターアーティストサポートプログラム審査員（2017-2018）、おおさか創造千島財団助成選考委員（2019-2022）、ICA京都プログラム・オフィサー（2020）、一般社団法人CHISOU（奈良県立大学実践型アートマネジメント人材育成プログラム）理事（2020-2023）、京都市文化市民局Arts Aid Kyoto 通常支援型審査員（2023）、文化庁アーティスト・イン・レジデンス型地域協働支援事業協力会議委員（2023-）他

講師 KONDO NOZOMI
近藤 のぞみ



02

■キーワード アートマネジメント、文化政策、文化行政
文化施設の運営、事業計画、組織運営、まちづくり、
国際音楽祭、アウトリーチ事業、ボランティアの育成

■教育研究

・担当科目：
舞台芸術基礎実習(1年)、芸術文化・観光プロジェクト実習1-4(1-4年)、文化施設運営論(2年)、
世界の文化政策(2年)、舞台芸術実習A-D(2-3年)、総合芸術文化実習(4年)

・本学委嘱委員：劇場運営委員会、地域リサーチ&イノベーションセンター

・専門領域

文化会館をはじめとした文化施設の運営や文化事業の企画・運営にやホールの在り方」について探求している。

その経験を活かして、大学ではインターン実習の仕組みづくりや、学15年以上携わってきた。また日仏の文化会館の比較なども行っており、「まちに根差し社会に開かれた劇場内公演の制作指導を行っている。学内公演の指導は'21年度「忠臣蔵 キャンパス編」、「22年度「OZ2022」「詩の朗読」、「23年度『餃舌なダイゴと白くてコトエ、マツオはリバーでネオには記憶」、「24年度『イワンのばか』の制作を担当。

(1) 関心のあるテーマ

- ・多様な市民にとっての身近な文化施設や文化会館の運営
- ・文化施設での専門職員の雇用および活用、キャリアアップの仕組み
- ・クリエーションの場としての劇場やコンサートホールの在り方
- ・音楽祭や演劇祭などの文化事業による地域づくり
- ・観光客を引き寄せる劇場やコンサートホールのプログラムづくり

(2) 研究事例

- ・臨地実習（学外インターン）に関する研究
- ・地方映画館の存続に関する研究
- ・フランスの文化会館「文化の家」についての研究
- ・フランスの地方都市で行われる国際音楽祭についての研究
- ・県立芸術文化センターの公共性についての調査

(3) 文化事業の実績

- ・国際音楽祭やコンサート、演劇やダンス公演の実施
- ・国際コンクールの運営、市民オペラの制作
- ・演劇などのワークショップの企画運営
- ・病院や学校などのアウトリーチの実施や巡回の仕組みづくり
- ・コンサート運営にかかる市民ボランティアの育成
- ・街中パレードの実施

■地域貢献・社会貢献

RIC PROJECT：夢ホール運営等研修及び人材育成事業（新温泉町）

その他：YB act 会議（養父市）、京丹後市文化芸術のまちづくり推進会議（京丹後市）

■アピールポイント

現場経験を活かしたアドバイスが可能。

また、クラシック音楽、演劇、オペラ、映画、コンクール、市民美術展と幅広く経験している。

03



語学

- 傅 建良 -----28
姚 瑶 -----29

情報

- 藤本 悠 -----30



03

- キーワード
(専門領域)
英語学、語法文法、対照言語学、言語によるコミュニケーション、意味論、現在完了形、文法化、動詞のアスペクト意味、語彙概念構造、News Perfect用法、形式と意味の不一致、専門職大学の教養科目間の連携、言語景観、テキスト分析 など

■教育研究

担当科目：英語1A・1B、海外語学研修A・B・C・D、専門演習、総合演習（予定）、日本文化と地域A・B

著書：『The Present Perfect in English: From Semantic, Evolutionary, and Contrastive Perspectives』（単、2021、開拓社）

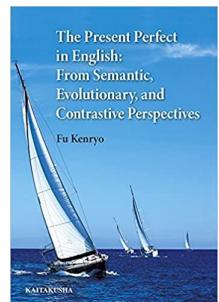
英語の現在完了形は現在と過去という二つの時間の関係を表す複合時制である（Leech, 2004; Huddleston et al, 2002等）。古英語まで遡ると “I have my work finished.” のような語順だった。また、“Einstein has visited Princeton.” はインシュタインが生きている間のみ適格であるとの見解がある。更に、口語では “I seen it.” のような「間違い」が無視できないほどある。この謎多き英語の現在完了形について、本書は意味論、文法化及び英語・日本語・中国語三言語対照の視点から、その本質に迫る。

著書：『英語実証研究の最前線』（共、2020、開拓社）

担当：第II部、「構文研究」、第2章「Before節における過去完了形と過去形 – 出来事の時間的構造の視点からー」



授業風景：英語合宿2021



開拓者 2021.10 発刊

科学研究費助成事業 基盤研究(C)

「演劇祭来訪者の広域観光周遊を促す时限的な言語景観の整備による多文化共生社会の構築」（研究分担者、研究期間2023年4月 - 2026年3月）

主な研究論文・研究ノート（2023～2024年度）

- ① Fu, K. (2023) The Eat Your Medicine Puzzle: Where Collocations and Neologisms Meet, *Journal of Arts and Tourism*, 2, 58-68.
- ② Fu, K. (2023) Linguistic Landscape in an English-Speaking Community: A Case Study of the University District of Seattle, *The JASEC Bulletin*, 32(1), 35-47.
- ③ Fu, K. (2024) Text Analysis on Toyooka-based Hotel Customers' Online Reviews, *Journal of Arts and Tourism*, 3, 194-200.
- ④ 傅建良 (2024) 「言語によるコミュニケーションー看板英語を事例として」（シンポジウム）『日本英語コミュニケーション学会紀要』33(1), 99-102.



開拓者 2020.9 発刊

主な研究発表（2024年）

Fu, K. (2024) ON THE DUST PUZZLE: FOCUSING ON EXAMPLES OF VERBS (The 21st AILA World Congress 2024 での口頭発表、開催地マレーシア、2024年8月13日)

本学の運営等の担当

国際交流委員会委員（英米協定校など担当）、教務委員会委員

■社会貢献

日本学術会議協力学術研究団体・日本英語コミュニケーション学会幹事・理事・編集委員など歴任
HYOGOローテリーEクラブ会員、国際ローテリー2680地区委員会委員歴任、第39回兵庫県高校生英語スピーチコンテスト但馬支部予選 審査員

■アピールポイント

日本英語コミュニケーション学会第15回学術奨励賞受賞（2023年）

大学英語教育学会会員、日本英語学会会員、英語語法文法学会会員、日本中国語学会会員、関西英語語法文法研究会会員、日本英語コミュニケーション学会会員

講師 YAO YAO
姚 瑶 yao_yao@stdat.at-hyogo.ac.jp



■キーワード 第二言語習得、母語・継承語・バイリンガル教育、応用演劇、多文化共生、異文化コミュニケーション、外国にルーツを持つ子どもの教育支援

■教育研究

・担当科目：中国語1・2、日本語A・B、海外実習A、知と表現のデザイン1、多文化社会の社会教育

・著書：

(1)単著『演劇的手法による日本語教育に関する理論的・実証的研究』（花書院、2017）

(2)共著『生命教育視域下小学生心理健康新教育研究』（廈門大学出版社、2024）

(3)共著『日本社会と継承語教育－多文化・多言語環境に育つ子どもたち－』（九州大学出版会、2025）

・多文化共生に関する研究：

①外国にルーツを持つ子どもの母語・継承語教育および日本語教育に関する研究

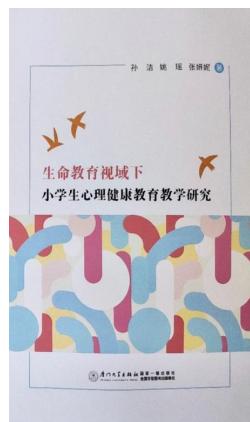
②「生活者としての外国人」の日本語教育支援、地域の日本語教育ボランティアの養成

・本学の委嘱委員：入試委員、情報システム連絡会議委員

・研究事例



『演劇的手法による日本語教育に関する理論的・実証的研究』
(単著)



『生命教育視域下小学生心理健康新教育研究』(共著)



『日本社会と継承語教育－多文化・多言語環境に育つ子どもたち－』
(共著)

■地域貢献・社会貢献

RICプロジェクト：

- ・高校コミュニケーションワークショップ
- ・香美町日本語教室ボランティア育成事業

委員：

・豊岡市多文化共生推進会議 副会長、豊岡市多様性推進・ジェンダーギャップ対策検討委員会 委員

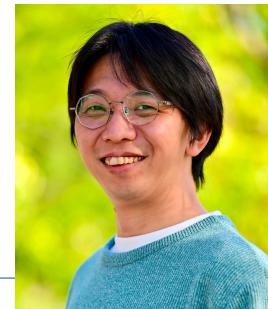
学会：

- ・母語・継承語・バイリンガル教育(MHB)学会
- ・中国語教育学会
- ・日本語教育学会
- ・言語文化教育研究学会
- ・日本演劇学会
- ・多文化関係学会
- ・国際表現言語学会 等

その他：

- ・劇団14+ 劇団員
- ・(有)パブリックチャンネル 俳優

FUJIMOTO YU
准教授 藤本 悠 yu_fujimoto@stdat.at-hyogo.ac.jp



03

■キーワード 総合情報科学（地理情報・文化情報）

地理情報システム（GIS）、デジタルアーカイブ、地域資源、文化財、データサイエンス、地域活性、ジオパーク、医療情報、生成AI

■教育研究

担当科目：情報処理演習（1年）、ICT演習（2年）、地域情報論（3年予定）
データサイエンス演習（3年）、専門演習（3年）、総合演習（4年）

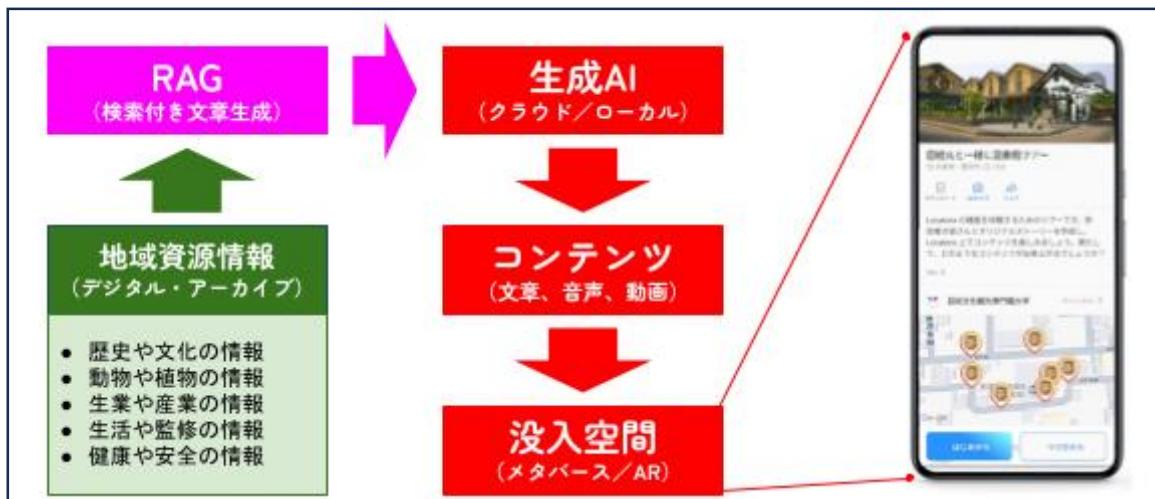
法人委嘱：兵庫県公立大学法人 総合情報基盤本部 CIO補佐
本学委嘱：安全衛生委員会、情報システム連絡会議

■専門領域

1. 地域資源のデジタルアーカイブと利活用に関する研究
2. 生成AIを用いた地域資源のコンテンツ化に関する研究
3. 医療者と患者のギャップを埋めるための基礎研究
4. 医療情報をアートとして表現するための基礎研究
5. 地域資源のブランディングと商品開発に関する研究

■地域貢献・社会貢献

1. 「鉱石の道」のブランド化に向けた住民へのヒアリングと提言（2022年～）
2. 出石における歴史史料館等の利用促進に向けた提言（2023～）
3. 山陰海岸ジオパークを活かした地域活性化に関する取り組み（2023年～）
4. 新温泉町における「上山高原」の活用に向けた取り組み（2023年～）
5. 香美町における地域資源を活かした「音のVR」の構築と実装（2024年～）



04



大社 充	-----	32
小熊 英国	-----	33
塩川 太郎	-----	34
高橋 伸佳	-----	35
直井 岳人	-----	36
西崎 伸子	-----	37
坂本 ひとみ	-----	38
高橋 加織	-----	39
崔 光雄	-----	40
野津 直樹	-----	41
安藤 竜	-----	42

OKOSO MITSURU

教授 大社 充



■キーワード 観光地の経営（デスティネーションマネジメント）

観光マーケティング、DMO形成支援、観光のソーシャルインパクトスタディ

04

■研究の概要

【主要な著書・研究報告書】

- ・単著『主要四カ国の文化政策と政府および民間の芸術文化支援』企業メセナ協議会（2002）
- ・単著『体験交流型ツーリズムの手法－地域資源を活かす着地型観光－』学芸出版（2008）
- ・共著『東日本大震災・原発事故 復興まちづくりに向けて』学芸出版社（2011年）
- ・単著『地域プラットフォームによる観光まちづくり－マーケティングの導入と推進体制のマネジメント－』学芸出版社（2013）（第36回交通図書賞奨励賞）
- ・単著『DMO入門 官民連携のイノベーション』事業構想大学院大学出版部（2018）（第13回観光研究学会・観光著作賞）
- ・共著『協力のテクノロジー』学芸出版（2022）

【地域の取り組み】 観光事業（DMC）運営人材研修を全国80地域以上で実施、各地での講演多数。 「観光地マーケティングの導入」「DMO形成・確立」の支援に全国20地域以上で従事 現在、「観光が地域に与える影響（ソーシャルインパクト）」の可視化に取り組んでいる。

DMO研究・デスティネーションマネジメント研究の先駆・第一人者

■研究事例

●専門領域（観光地域の経営）

行政をはじめ地域の複合的な人や組織が、観光地域経営に求められる複数の要素ごとにプログラムを作成して各種事業を進めることで魅力的で持続可能な地域づくりを行う。

デスティネーションマネジメントの基本フレームワーク

事業内容 市場 カテゴリ	地域外(市場)への働きかけ 対象とする市場		域内への働きかけ 受け入れ環境整備						
	DMO		飲食	宿泊	交通	施設	小売	体験	すべての市場に求められる環境整備
	国内 団体	海外 個人							
特定市場 デスティネーション・マネジメント	カテゴリA カテゴリB カテゴリC カテゴリD 細分化した個人客								
○合計									

■政策系シンクタンク(NPO)での活動実績

- ・「DMO形成支援事業」（越前市／熱海市）
- ・「DMO財源開発(計画)研究セミナー」（共催:京都大学管理大学院・京大オリジナル）
- ・「デスティネーションマネジメントEssence」（共催:京都大学管理大学院・京大オリジナル）
- ・「ポストコロナ期に漕ぎ出す観光羅針盤作成事業」（岡山県）
- ・「歴史的資源を活用した観光まちづくりモデル事業」（伊賀市）

■観光まちづくり系・人材育成事業

- ・「長崎県観光系職員研修」（長崎県）
- ・「関西広域連合観光系職員研修」（関西広域連合）
- ・「秋田県観光地域づくり職員研修」（秋田県自治研修所）
- ・「高知県地域力創造研修」（うち人づくり広域連合）
- ・「福島県観光地域づくり人材育成講座」（福島県）
- ・「豊岡市大交流課職員研修」（豊岡市）
- ・「観光戦略の実践」（市町村アカデミー～現在）
- ・「観光による地方創生」（自治大学校～現在）

■アピールポイント

2009-2010国土交通省「成長戦略会議」委員（観光分野／都市分野担当）

2010 内閣府行政刷新会議規制制度改革「農林・地域活性化WG」委員

2013 経済産業省「産業構造審議会」委員

2014-2019内閣官房「まち・ひと・しごと創生会議」委員

2020- 総務省「ふるさとづくり懇談会」委員

2021-2022 兵庫県「ユーバーサルツーリズム推進検討会」座長

2023 岡山県「津山まちじゅう博物館構想・有識者会議」委員 ほか

OGUMA HIDEKUNI

教授 小熊 英国



04

■キーワード サービスマネジメント 観光学 有人宇宙学

■教育研究

- ・担当科目：マネジメント入門、観光事業概論、観光交通業実習、観光サービスマネジメント論、旅行産業論、旅行事業実習
- ・本学委嘱委員：入試委員会委員長、ビジョン2050推進室室長

・専門領域

1. サービスマネジメント

観光を中心としたサービス業（飲食、宿泊等々）をハーバード経営大学院の研究で有名なSPCモデルや、顧客満足マーケティング等の手法を活用し事業開発・支援

2. 観光学

大手航空会社の海外拠点でジェネラルマネジャーとして従事、世界100ヶ国以上の渡航経験を活かし、外国人の日本誘致、インバウンドを研究

3. 有人宇宙学

宇宙における観光と旅行について京都大学大学院にて研究

事例1 講演



事例2 コロナ渦のサービス業 セミナー

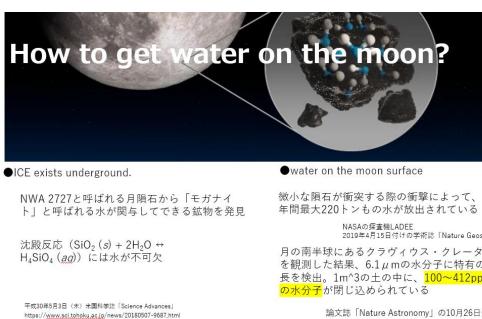


2020あさって会議NS_小熊英國様

事例3 サービス業のコンサル（社員による課題抽出）



事例4 宇宙に関するフォーラム調査発表



事例5 インバウンドツーリズム 海外現地調査



■アピールポイント

経営、観光、サービスホスピタリティの分野において、大企業をはじめ多くの企業、地方自治体等で講演、講義、コンサルティングに携わってきました。企業のアドバイザリーボード、学会理事多数兼任。

33

SHIOKAWA TARO
教授 塩川 太郎 kuwataro@stdat.at-hyogo.ac.jp



■キーワード 観光地理学、歴史学、行動生態学
文化遺産、観光資源、災害文化、自然教育

04

■教育研究

・担当科目：観光地理学、観光資源実習、国際防災論、海外実習A、知と表現のデザイン1、専門演習

・研究：著作

〈論文〉

「台湾の日本統治時代に造られた西国三十三所観音靈場

-現状と保存維持・観光資源化への課題-」,『台湾研究』

「1999年台湾921大地震における地震記念碑について」,『歴史地震』

「台湾における災害文化と防災事情」,『海外事情』

「台湾における温泉旅行の志向性(1)-台湾温泉の印象-」,『温泉』…等

〈学会発表〉

台湾921大地震の震災遺構と防災ツーリズム（人文地理学会）

台湾宜蘭県に残る西国三十三所靈場の観光利用について（日本観光研究学会）

台湾鹿港における公共レンタサイクルと観光振興について（日本観光研究学会）…等

・専門領域

(1) 文化財と観光振興

地域の文化財を調査し、文化財が持つ歴史・文化的価値を
明らかにすることで、保存維持と観光資源化について考える。

(2) 災害文化と防災

過去の災害を伝える災害伝承碑や遺構を調査し、防災教育に
役立てる。

(3) 国際交流 (CAT国際交流センター長)

海外留学や実習などの支援（主に台湾）。

(4) 自然観光資源の利用

動物や昆虫の生態調査を行い、生態系の保護や自然観光資源と
しての利用を考える。地域にて昆虫展を開催。



企画した昆虫展の様子



文化財調査：拓本による碑文の解読(塩川)



企画した昆虫展（標本展示）

■アピールポイント

〈2つの博士号〉 文学博士と農学博士

・震災関連行事に歴史地震研究の専門家として参加。

・東日本大震災関連のラジオ番組に防災学の専門家として出演。

・観光施設や地域コミュニティにて昆虫展を開催(夏休み期間)、標本作成など子供向けワークショップを行っている。

・台湾の大学（観光・文学系）にて勤務。学科長や国際交流委員など歴任。

TAKAHASHI NOBUYOSHI

教授 高橋 伸佳 n_takahashi@stdat.at-hyogo.ac.jp



■キーワード 地域活性化、まちづくり、ウェルビーイング、ヘルスケア、スポーツ、ヘルスツーリズム、スポーツツーリズム、ユニバーサルツーリズム、観光衛生マネジメント、医療インバウンド

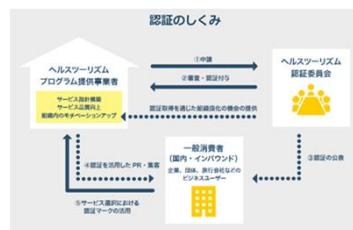
■ 教育研究

- ・担当科目：観光学概論、ニューツーリズム論、宿泊産業論、エリアマネジメント論、インバウンド・マーケティング論
観光プロモーション演習、宿泊業実習、ホスピタリティ実習、ディスティネーション実習、専門演習、総合演習
 - ・研究：2024年度中に実施したもの
 - ・個人研究「地域住民のウェルビーイングと来訪者との交流による地域活性化に関する研究 ー新たなヘルスツーリズムの構築に向けてー」
 - ・科学研究費助成事業基盤研究B「芸術文化と観光と地域ケアのリンクエージー ー総合文化政策によるウェルビーイングの実現」
 - ・科学研究費助成事業基盤研究C「演劇祭来訪者の広域観光周遊を促す時限的な言語環境の整備による多文化共生社会の構築」
<地域連携事業等>
 - ・豊岡市（2021年～）「豊岡コミュニティ・ツーリズム事業」 ※観光庁「令和5年度観光白書」の持続可能な観光地づくり事例に掲載
 - ・新温泉町（2024年～）「観光・スポーツ振興に向けたフィールドワーク事業」
 - ・兵庫県（2024年～）「ひょうごUTコンシェルジュ育成プログラム」監修
 - ・朝来市（2025年～）「朝来市ユニアーサルツーリズム推進支援事業」
<書籍>
 - ・一からの観光事業論 第2版（第13章 観光まちづくり） 碩学舎
 - ・本学委員／外部学会委員：教務部長（教務委員長）／日本観光経営学会理事、日本ヘルスツーリズム学会理事
 - ・専門領域：健康・スポーツを中心としたサービス業の事業開発、事業再構築、サービス・マーケティング、サービス品質

事例1 セミナー、ワークショップ



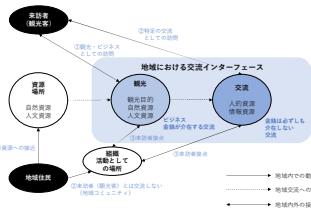
事例3 政策・制度設計、審査



事例5 プロジェクト推進／社会実装



事例 2 調査、分析、考察



事例4 プログラム・コンテンツ開発



豊岡コミュニティ・ツーリズム事業
スポーツ庁
Sports in Lifeアワード
Sports in Life2023賞 受賞 (2023)
奨励賞 受賞(2024)

■アピールポイント（地域貢献・社会貢献）

- ・特定非営利活動法人日本ヘルスツーリズム振興機構（業務執行担当理事）、ヘルスツーリズム認証制度審査員（経済産業省制度）
 - ・日本経団連ヘルスケア産業部会「健康投資と企業経営」委員（2006年～2007年）、経済産業省近畿経済産業局「健康文化産業の見える化」委員（2008年）、大阪市「健康予防医療プロジェクト」コーディネーター（2008～2009年）、国土交通省観光庁「ニューツーリズムの顧客満足度調査」委員（2011年）、静岡県「ふじのくにしづおか観光振興アドバイザー」（2011年～2016年）内閣府「沖縄独自の医療情報基盤を活用した実践的医療サポート及び医療情報活用事業」委員（2015年）、栃木県「ちぎヘルスケア産業推進懇話会」委員（2016年～2019年）、東京商工会議所「健康づくり・スポーツ振興委員会」委員（2016年～2019年）、東京消防庁「救急車適正利用等の促進に関する有識者会議」委員（2017年）、経済産業省「医療技術・サービス拠点化促進事業」研究会委員（2017年）、熊本県荒尾市「（仮称）道の駅あらお」委員（2018年～2020年）、都市再生機構「URまちづくり支援専門家」（2019年～）、埼玉県三郷市「三郷市都市型ヘルスツーリズム推進協議会」座長（2019年）、Go Toトラベル「コロナ対策全施設調査に関するアドバイザー」（2020年）、環境省「国立公園満喫プロジェクトにおける自然体験コンテンツのガイドラインに係る作成等業務」検討会委員（2020年）、京都府観光連盟観光アドバイザー（2021年～）、観光庁「地域の観光資源の磨き上げを通じた域内促進に向けた実証事業」専門家（2021年）、養父市「道の駅ようか運営者選定委員会」委員（2021年）、地域総合整備財団「地域再生マネージャー事業」推進アドバイザー（2022年～）、観光庁「令和4年度地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品創出事業」専門家（2022年）、スポーツ庁「Sport in Life 公募モデル事業」審査員（2022年～2024年）
 - ・豊岡市「ネオカルTOYOOKA推進協議会」会長（2022年～）、朝来市「あさご芸術の森多々良木交流館指定管理者選定委員会」委員長（2022年）、豊岡市「道の駅「神鍋高原」最適化整備運営計画策定委員会」委員長（2022年～2023年）、第3次朝来市観光基本計画策定業務プロポーザル審査員、第3次朝来市観光基本計画検討会委員（ともに2023年）、新温泉町スポーツ推進計画策定委員会アドバイザー（2023年～）、豊岡市総合健康ゾーン健康増進施設第2期運営事業者選定委員会委員（2024年）、養父市健康づくり推進協議会委員長（2023年～）、丘県立日高高等学校学校評議員（2025年～）など、公職を通じて研究の社会実装や活動支援に取り組んでいる。



■キーワード 観光研究（観光者心理）

実学的：再訪促進、観光資源発掘、入店したくなる店舗の印象、混雑感緩和
学術的：手段目的連鎖モデル、混雑感、生活感、ロイヤルティ、景観評定、
環境配慮行動

対象地：歴史的町並み、商店街、テーマパーク、演劇祭など

04

■教育研究

- ・担当科目：観光学概論、観光産業マーケティング論、観光マーケティング分析、デスティネーションマーケティング論、旅行者心理学、観光キャリア英語、専門演習、総合演習
- ・専門領域：観光研究（環境心理学、消費者行動）
- ・研究概要：
 - 魅力的だと思う場面の写真を撮影し、撮影理由を答えてもらう（キャプション評価法）
 - 観光地の人の存在の意味：あまり人がいないほうが良い場面、いるほうが良い場面に関する研究
 - 芸術祭来場者の「ついで観光」（空いた時間の観光、開催時期以外の再訪）
- ・アピールポイント：
 - 対応可能な調査手法：アンケート調査、インタビュー、景観評定実験、テキストマイニング
 - 英語での講義、講演可能
 - 文系と理系、海外と国内の2つの博士号：観光[学術]イギリス、工学[都市計画]日本

■主な研究業績

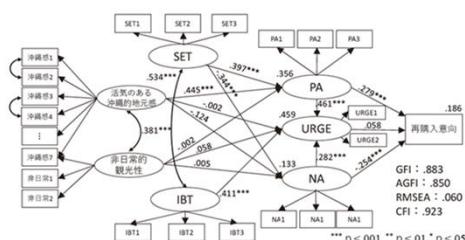


図-4 全体評価と観光者特性に関わる包括的購買モデル

【論文】観光研究：2021年
(上原・直井・飯島・伊良皆、2020)

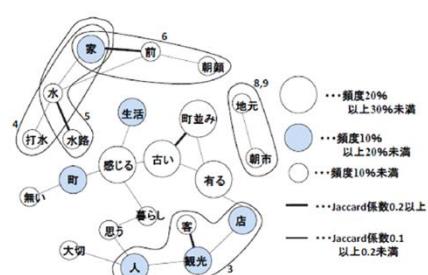


図2：問8への回答中の頻出語間の関係

【論文】都市計画論文集：2013年
(直井・十代田・飯島、2013)

- 科研Cイベント観光の時空間的広がり：演劇祭会期中回遊性と会期外再訪意向が生じる仕組み（2025年度まで）
- Handbook of Japanese Tourism and Hospitality : 2025年 Chapter 5. Cultural Tourism Resources
直井 岳人
- 本学[紀要]芸術文化観光学研究：2024年
演劇祭来場者の行動に時空間的影響を及ぼす要因
—豊岡演劇祭2023初回来場者とリピーターの比較—
直井 岳人・野津 直樹・河村 龍也
- Asia Pacific Journal of Tourism Research : 2023年
- Impact of Incomplete Planned Experiences on Tourist Satisfaction: A Case of Tokyo Disneyland
河田 浩昭・直井 岳人
- 日本観光研究学会全国大会【発表+発表論文】：2021年
- ・GoTo トラベルキャンペーン利用意向と観光に関する心理的要因の関係：GoTo トラベルキャンペーン開始直後の東京都のケース
直井 岳人・十代田 朗・飯島 祥二・上原 明
- 公益財団法人 日本交通公社発行：2021年8月10日
「芸術文化×観光×経営によるイノベーション、価値創造、地域貢献：芸術文化観光専門職大学（特集 観光振興に貢献する地方公立大学：地域における現状と課題、そして期待）」
- 日本観光研究学会【特集論文】観光研究：2021年
- ・観光地での訪問客と他者との係わり：感染症流行期およびその前後における訪問客心理の観点から
- 日本観光研究学会【論文】観光研究：2020年
- ・観光者の購買行動を促す店舗の評価に関する研究
—沖縄県那覇市国際通り周辺商店街における土産物購買の場合—
上原 明・直井 岳人・飯島 祥二・伊良皆 啓
2021年度日本観光研究学会優秀論文賞
- 公益社団法人日本都市計画学会【論文】都市計画論文集：2013年
- ・観光地としての歴史的町並みにおける地元の生活の様相
—訪問客のまなざしの対象と、それに対する住民の評価—
直井 岳人・十代田 朗・飯島 祥二
- Tourism Management : 2011年
- ・Applying the caption evaluation method to studies of visitors' evaluation of historical districts
直井 岳人・山田 孝延・熊澤 貴之

■キーワード 学問分野：アフリカ地域研究、生態人類学、環境社会学

東アフリカ、エチオピア、野生動物保全、民族文化観光、再生可能エネルギー開発、
自然資源の持続的利用、住民参加、ジェンダー、女性の自立

04

■担当授業

・国際環境論、社会学、社会調査演習1・2、ニューツーリズム論、知と表現のデザイン2・専門演習・総合演習

・学内業務

・副学部長（2025年4月～）

■研究領域

現在取り組んでいる研究課題（海外）

（1）東アフリカ農牧社会のエネルギー選択：世帯レベルでの実証分析と地域間比較：再生可能エネルギー率100%のエチオピアで、人びとのエネルギーの利用方法についてフィールドワークをおこなっています。

（2）エネルギーの人類学：アフリカの再エネ開発が地域社会に与える影響に関する比較研究：再生可能エネルギー開発と地域社会の関係について、エチオピアで調査をおこなっています。

（3）ポスト「ローカル・コミュニティ」時代の自然・文化保護事業とアフリカ少数民族社会：観光開発の進展とともになう地域社会の変動から、コミュニティ概念の問い合わせを試みています。

（4）グローバルサウスの観光とジェンダー：ゲストとの新たな出会いとエンパワーメント：家父長制度と観光業への女性の参入について、東アフリカで調査をおこなっています。



左上：民族文化観光
(エチオピア)

右上：野生動物観光
(タンザニア)



左下：農牧社会の暮らし
(エチオピア)

右下・飲食をともにしながらの調査
(エチオピア)

*写真撮影はいずれも西崎による

■アピールポイント

・地域社会をするために、**現場をあるき、みて、感じ、考えるための技法**（社会調査法）を教えています。

・環境保全と社会の関係について幅広く調査しています。日本では、**食文化に関する在来の技術の継承**について調査や実践活動をおこなっています。

SAKAMOTO HITOMI

准教授 坂本 ひとみ

h_sakamoto@stdat.at-hyogo.ac.jp



■キーワード まちづくり、地域創生、ツーリズム、人材育成、キャリア開発、地域産業支援

地域の人材育成研修、企業・市町村職員研修、教育機関キャリア研修等

04

■教育研究

・担当科目：エリアマネジメント、マネジメント入門、宿泊業実習1、宿泊業実習2、人的資源管理論

■専門領域

・地域の人材育成…人権擁護委員研修、商工会議所女性部研修 等

・地域の産業育成支援…地場産業大賞の審査委員、高校生の商品開発審査委員 等

・市町村職員研修…女性管理職研修、教育委員会新任教員研修、男女共同参画研修、ハラスメント研修 等

・キャリア支援…小学・中学・高校生のためのキャリア開発支援講座、高校生のための就職講座 等

・地域創生…地方の農業インターンシップ支援 等

・学生による地域活性化を支援【豊岡市竹野地区・朝来市黒川温泉など】



高知県事例
学生による「高知観光」
プロモーションビデオの作成



豊岡市竹野地区事例
学生による「竹野ツアー」の提案



高知県事例
農業インターンシップと
学生による6次産業提案

■社会貢献

・経済産業省 中小企業基盤整備機構 プロジェクトコーディネーター

・厚生労働省 キャリア支援室会議委員

・岐阜県白川村観光振興プロジェクトの実施

・内閣府 男女共同参画リーダー

・厚生労働省 ジョブカード講習講師

・人事院 公務員懇話会委員

・産業技術総合研究所 カウンセラー

・兵庫県神崎郡福崎町 行政改革委員

・高知市就労促進アドバイザー

・高知県インバウント戦略プロポーザル審査委員

・高知県地場産業大賞 審査委員 他

■アピールポイント

専門は経営学（ヒト系）です。金融機関の人事部や男女共同参画センターでの勤務を経験し、高知県観光特使として高知のツーリズムPRを学生と企画し動画を配信する等を行ってきました。また、地場産品の新商品開発等にも関わりました。企業再生の手法を用いて、資源をどう生かすかなどを考えながら地域の商品（モノ・コト）を開発支援してきました。農業にも携わり、農業インターンシップの企画運営や学生による商品の提案などを手かけました。現在は、地域活性化や観光資源を活かしたツーリズムに向けて、学生とともに豊岡市竹野地区や朝来市黒川温泉にも関わっています。

TAKAHASHI KAORI
講師 高橋 加織 kaori_takahashi@stdat.at-hyogo.ac.jp



04

■キーワード ジェンダー研究、観光業における労働問題
女性やマイノリティの職場環境及び生活環境の改善、インターンシップの構築
及び支援

■教育研究

・担当科目：観光資源実習（1年）、宿泊産業論、宿泊業実習1・2、旅行業実習1、ホスピタリティ実習、海外実習A（2年）、旅行業実習2（3年）

・本学委嘱委員：学生生活委員会、実習支援センター

・研究：1. ジェンダー研究：職場環境の改善

(1) 宿泊業における職場・生活環境の改善：インタビュー調査を行い、働く人たち（特に、女性、外国籍、障がい者など）の抱えている問題を明らかにすることで、職場の環境および生活環境の改善に貢献できる。宿泊業で働く人は、女性、外国籍の方、子育て中の方も多いことが予想される。近隣の親類縁者などのサポートがなくても子育てと就労を両立し、生活しやすい環境の整備や支援をおこなう。

2. 観光研究：宿泊業支援、インターンシップの構築および支援

(1) 宿泊業のイベントや講習会（小中学生向け、地域住民向けなど）を企画できる。

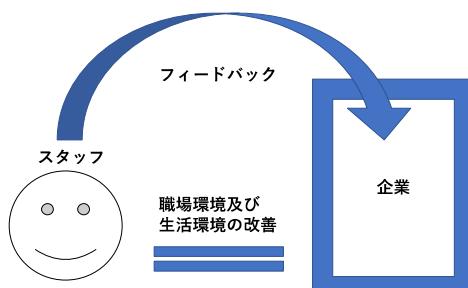
(2) 国内外の企業や教育機関と宿泊業におけるインターンシップの提案。

・運営等の担当

観光業界を目指す若者向けセミナー（高校生対象）実施事業

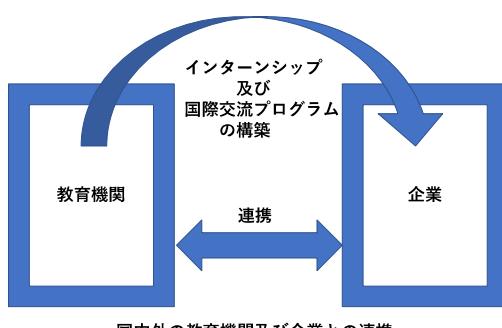
・専門領域

事例1. インタビュー調査を用いた職場および生活環境の改善



* インタビュー調査の結果を分析し、企業へフィードバックすることにより、職場環境及び生活環境を改善し、より良い職場づくりを目指します。

事例2. インターンシップの構築及び支援



* 国内外の教育機関及び企業の架け橋となるインターンシップ及び国際交流プログラムの構築を支援します。言語、文化、宗教、習慣などの異なる方々と交流することにより、企業、教育機関及び地域の多文化共生を実現します。

■アピールポイント

ホテル業において国内外要人接遇を多数経験。

講師 CHE KWANGWOONG
崔 光雄 kwchoi@stdat.at-hyogo.ac.jp



■キーワード 観光まちづくり、持続可能な観光、観光経済、観光経営

04

「観光まちづくり」や「持続可能な観光」の実現に対して「観光経済」や「観光経営」のアプローチで対応することを心がけています。観光を通じた地方創生や地域活性化に関する研究テーマや事業に幅広く関心があります。

■教育研究

・担当科目

観光学概論（1年）、観光プロモーション演習（3年）、芸術文化・観光プロジェクト実習（1～3年）
デステイネーション実習（3年）、地域創生論（2年）、観光まちづくり論（1年）

・研究・著作

崔光雄(2025)「地域ウエルネスツーリズム資源発掘研究」『日本近代学研究』No87, 221－245

崔光雄,徐鏞健(2021)「島嶼観光地の価値評価に関する研究」『Northeast Asia Tourism Research』vol.17(3),P.197-P.225

Kwang-Woong Choi, Jung-Woong KANG, Ji-Won KIM, Mincheol KIM(2021)「Compromise between Small Data and Big Data(韓国語)」『Journal of Tourism & Industry Research』vol. 41(2),P.21-P.31

Mona Chang, **Kwang-Woong Choi**, Mincheol Kim(2020)「On Factors Affecting Tourism Capacity (Overtourism): Using Logit Analysis(韓国語)」『Journal of Tourism & Industry Research』vol. 40(2),P.15-P.23

Mincheol KIM, **Kwang-Woong Choi**, Mona CHANG, Chang-Hun LEE(2020)「Overtourism in Jeju Island: The Influencing Factors and Mediating Role of Quality of Life」『Journal of Asian Finance, Economics and Business』vol.7(5),P.145-P.154

Choi, Kwang-Woong, Suh,Yong-kun(2019)「A Comparative study on Tourist Attractions according to Ownership Types Using Stakeholder Theory」『Journal of Tourism & Leisure Research』vol. 31(8),P.175-P.193

Kwang-Woong Choi, Mincheol Kim, Mona Chang, Bon-Jun Koo (2019)「Evaluation on Overtourism in Jeju Island(韓国語)」『Journal of Tourism & Industry Research』vol. 39(2),P.29-P.36

Choi, Kwang-Woong, Suh,Yong-kun (2019)「Measuring sustainable tourism - Focused on Jeju Island - (韓国語)」『Journal of Regional Studies』vol.27 (1) P.107-P.121

Mincheol Kim, **Kwang-Woong Choi** (2019)「On Visitors' Recognitions of Yearly Breaks of Jeju Oreum(韓国語)」『Journal of Tourism & Industry Research』vol. 39(1),P.37-P.44

■専門領域

以下、国や地方自治体の事業に研究者として参加した際のテーマを参考までに掲載します。

「離島の全般的交通体系の改善事業」

「離島文化の観光資源化事業」

「済州島観光教育総合計画策定事業」

「済州島ウエルネスツーリズム（ヘルツーリズム）資源の調査および評価事業」

「済州産ヒラメの観光商品化事業」

「済州オルム（小火山体）休息年推進状況の評価および改善事業」

■アピールポイント

観光を通じた地方創生や地域活性化に関する研究テーマや事業に幅広く関心があり、研究者の立場からの事業参加、講演、各種委員会などへの参加など、色んな形で地域と関わっていきたいと考えております。

観光に関するテーマであれば特に制限を設げず、積極的に対応したいと思います。

講師 NOZU NAOKI
野津 直樹 nozu@stdat.at-hyogo.ac.jp



04

■キーワード 観光情報、交通ビッグデータ、芸術文化観光学、豊岡演劇祭

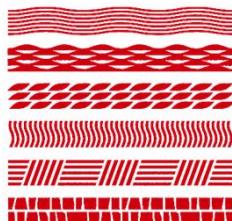
国内観光・インバウンド観光のデータ分析による観光資源の潜在需要の調査、観光客の公共交通を活用した地域内周遊を促進する情報整備手法の検討

■教育研究

担当科目 : 情報処理演習2、観光交通論、観光情報演習、芸術文化・観光プロジェクト実習1~4
主要研究 : 野津直樹 (2016) 「ビッグデータによる観光動態分析」、『人工知能』31(6)、pp.850-857
野津直樹 他 (2017) 「交通ビッグデータを活用したまちづくり」、『新都市』71、pp.40-46

■地域貢献・社会貢献

R6年度 : RIC ひょうごフィールドパビリオン地域内連携の強化と情報発信事業担当
R6年度 : RIC 新温泉町民バス政策検討事業担当
R4~R6年度 : 豊岡高等学校「探究Ⅰ」地域課題研究講師
R4年度 : 八鹿高等学校 高大接続改革推進事業 出張講義講師
R4年度~ : 日本国際観光映像祭 審査員 (国際部門)
R4年度~ : 新温泉町 交通政策研究会アドバイザー
R4年度 : 兵庫県 新観光戦略推進会議専門委員
R3年度 : 兵庫県 新全県ビジョン検討委員会委員
R2年度~ : 豊岡演劇祭実行委員会 モビリティディレクター



豊岡演劇祭
Toyooka Theater Festival



▲豊岡演劇祭2022会期中に配布した「公共交通早見時刻表」



▲ RIC nosisu実証実験
(芸術文化観光専門職大学にて)



▲電動キックボード実証実験 (城崎温泉にて)



▲豊岡演劇祭2020におけるオンデマンド交通実証実験

■アピールポイント

【受賞】第12回観光情報学会全国大会(2015)、第13回観光情報学会全国大会(2016) 大会優秀賞

【資格】旅客自動車運送事業運行管理者、国内旅行業務取扱管理者、応用情報技術者、

専門統計調査士、社会調査士 他

助教 ANDOH RYOH
安藤 竜

r-ando@stdat.at-hyogo.ac.jp



■キーワード

歴史学、日本近世史、地域史、歴史資源を活用したツーリズム

04

■教育研究

- ・担当科目：芸術文化・観光プロジェクト実習1・2・3・4、旅行業実習1、宿泊業実習1・2、ホスピタリティ実習、観光交通業実習1・2、地域とつながる歴史学（予定）
- ・研究：「能登奥郡における加賀藩の地域編成と村落－能登国鳳至郡東山村を事例に－」（『加賀藩研究』第12号、2022年）
「加賀藩領における鉄砲改と狩猟・鳥獣害」（『かなざわ食マネジメント専門職大学紀要』創刊号、2023年）
「近世加賀藩領における柿」（『かなざわ食マネジメント専門職大学紀要』第2号、2024年）

■専門領域

1. 日本近世の地域史。

とくに加賀藩領（能登・加賀・越中）の山間地域を素材に、藩による地域支配の仕組みと、村落社会に生きた人々のあり方を追究してきました。
本学着任後は、但馬国出石藩を対象として、地域の獣害対策や將軍家に献上された産物（鮎・鮭・朝倉山椒など）、円山川舟運の研究などに取り組み始めています。

2. 日本近世の地域芸能史

本学着任後、出石藩や豊岡藩を対象に、但馬国における芝居や相撲などの芸能興行の研究に取り組んでいます。

3. 歴史資源を活用したアート・ツアーの造成

金沢では、歴史学の研究成果を活かしたインスタレーションやツアーの造成にも取り組んできました。

■地域貢献・社会貢献

2024年

- ・松井直コレクションプロジェクト（小松市立空と子ども絵本館）
第9回タイサンボク講座「前田利常の美と小松の文化」講師
- ・金沢市尾張町商店街 歴史と伝統文化講演会
「加賀藩領のシシと発酵食文化」講師
- ・富山市民学習センター 富山市民大学「食と住の文化史」
「加賀藩の將軍献上と海・山・川の産物」講師
- ・石川県立金沢錦丘中学校キャリア別講演会
「地域の魅力を創造する」ファシリテーター など



2023年以前

- ・金沢21世紀工芸祭2023「工芸×金沢の怪談・奇譚ツアー」ツアー造成・講師
- ・インスタレーションアート展「珠姫の物語～過去へ進む 未来へ戻る～」企画・調査・キャプション など

■アピールポイント

地域の人々からも忘れられてしまった地域の歴史を古文書から読み解き、得られた知見を新しいコンテンツの創造につなげることで、地域をもっと面白くする、そんな活動を但馬でも進めていきたいと思っています。

05



荒木 利雄	-----	44
小畠 克典	-----	45
瓶内 栄作	-----	46
千賀 喜史	-----	47
夏 世明	-----	48
小島 寛大	-----	49
辻村 謙一	-----	50

教授 ARAKI TOSHI
荒木 利雄 arakit@stdat.at-hyogo.ac.jp



■キーワード

アントレプレナーシップ教育、事業創造、地域経済・地域社会の活性化、経営学からの
価値創造、ファミリービジネス、地方大学経営

05

■教育研究

- ・担当科目：アントレプレナーシップ論、地域イノベーション論、事業創造入門、創造性開発演習、地域連携実習
- ・大学運営実績：キャリアサポートセンター長（2025年4月～）

■研究・教育などの実績(2022年以降)

(論文)

荒木利雄(2022)「ソーシャルビジネスを展開するスタートアップ企業経営戦略－中小企業と大学との連携・協働によるSDL価値共創プロセス」『CIPFA Japan ジャーナル』（英国勅許公共財務会計協会日本支部）第6号, pp.3-14.

荒木利雄(2024)「地域中小企業における持続的経営のための人材育成工コシステムモデルの構築に向けて－アスカカンパニー株式会社と株式会社アスカコネクトの起業事例を通して」『福山大学経済学論集』第48巻, pp.116-133.

松尾亮爾・荒木利雄(2024)「公共に関する諸概念と価値創造ロジックの統合的考察－包括的政策形成システムの提起－」『ビジネス＆アカウンティングレビュー』（関西学院大学経営戦略研究会）34号, pp.1-21.

(著書)

Toshihiko Ishihara(ed.)(2025)『Value Research in Management Studies』
分担執筆：担当範囲Part 2 – Chapter 10 Value Co-creation by Regional University and Regional Venture Company: Perspective of Solving Social Issues, CHUOKEIZAISHA INC.

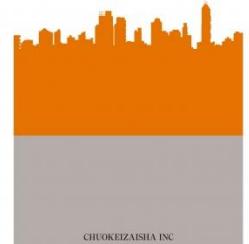
(翻訳)

石原俊彦・松尾亮爾監訳(2023)『パブリック・サービス・ロジック』関西学院大学出版会, 原著名 : Stephen P. Osborne (2021), Public Service Logic: Creating value for public service users, citizens, and society through public service delivery, Routledge.

荒木は第2章「サービス・マネジメントとマーケティングの基礎」を担当.

Value Research in Management Studies

Edited by Toshihiko Ishihara



Toshihiko Ishihara(ed.)(2025)
『Value Research in Management Studies』 2025年3月,
CHUOKEIZAISHA INC.(共著)

■地域貢献・社会貢献

(2024年度実績)

- ・広島県立尾道商業高等学校 学校運営協議会、委員

■アピールポイント

2025年4月に本学に着任しました。アントレプレナーシップ教育による人材育成や、社会課題解決のためのソーシャルビジネス、ファミリービジネスなどの研究をしています。この但馬地域で地域活性化に向けて、様々な形で積極的に貢献したいと思っています。

OBATA KATSUNORI

准教授 小畠 克典 k_obata@stdat.at-hyogo.ac.jp

■キーワード 金融・ファイナンス、会計、グローバル経営、
多文化マネジメント、プロジェクト・マネジメント

■教育研究・専門領域

＜担当科目＞

会計ファイナンス入門、ビジネスアカウンティング論、グローバルリーダー入門、
地域イノベーション実習、パフォーマンスキャリア英語、専門演習、総合演習

＜本学委嘱委員＞

学生部長、自己評価委員会委員

＜研究領域＞

1. 金融・ファイナンス

コーポレート・ファイナンス、財務マネジメント、金融教育

2. 芸術文化の社会的・経済的効果

演劇と観光、演劇・芸術祭の社会的・経済的効果の定量分析と地域インパクト、
舞台芸術の産業構造とファイナンス手法

3. 多文化マネジメント、グローバル経営

多様な文化バックグラウンドを持つメンバーが集まるチームにおけるマネジメントの
あり方、リーダーシップのあり方

4. プロジェクト・マネジメント

システム開発に限らず、新規事業、新商品開発、各種イベント等々、様々な「プロジェ
クト」の計画・実行に際しての、体制構築、リソース管理、進捗管理、効果測定、危機対応等。

■地域貢献・社会貢献

＜RIC事業＞

- ・ひょうご観光本部観光・まちづくりセミナー
- ・北但大震災100年イベントにかかる城崎街歩き・演劇公演事業
- ・養父市「若者ミライ会議」運営
- ・新温泉町諸寄地区の観光まちづくりプロジェクト
- ・朝来市梁瀬地区の観光まちづくりプロジェクト

＜その他＞

- ・豊岡観光イノベーション 公認英語ガイド



05

■アピールポイント

30年を超える金融機関での実務経験と、18年の海外経験。20の国籍からなる200人のチームを率いてきました。事業の財務、定量・定性分析や企業内ダイナミクス、金融事情に通じ、特に欧州ビジネス・生活事情について経験豊富です。

准教授 KAMEUCHI EISAKU 瓶内 栄作 e-kameuchi@stdat.at-hyogo.ac.jp



■キーワード 中小企業、事業承継、経営革新、第二創業
経営診断（中小企業診断士）

05

■教育研究

- ・担当科目：事業創造入門、地域創生実習（2年）、地域イノベーション実習（3年）、地域連携実習（4年）
- ・研究：(2024)「財務的側面での事業承継パフォーマンス評価に関する探索的研究」中小企業季報, 2024 No.4, pp. 1-11.
(2024)「企業の地方への多拠点展開における、非本業型パートナーシップを有する立地誘因者の役割についての考察」日本中小企業学会論集, 43号, pp. 74-87.

・本学委嘱委員：実習支援センター委員長

・専門領域

1.事業承継

事業承継環境に関する調査研究、親族承継時における、後継者のキャリアを活用した第二創業の実現、公的支援機関でのアドバイザー経験を生かした個社に対する助言、環境変化に対応した、複数選択肢の事業承継計画の策定

2.中小企業経営、中小企業診断・支援

経営革新等支援機関の経験を生かした、事業計画の策定、中小企業政策の変遷と、政策が対象とする企業類型に対する研究

3.新規事業創出

既存経営資源を活用した第二創業の実現、事業再構築の方策検討



図1 2025.2.18
養父市 お仕事体験ワークショップ
(有限会社オグラ)



図2 2025.3.17
但馬県民局主催
スタートアップ・ビジネススクエア2025



図3 東浦ターミナルパーク活性化協議会 座長

■地域貢献・社会貢献

兵庫県中小企業家同友会 NT委員（景況調査レポート）、本学 リカレント教育『但馬ストーク・アカデミー』講師
全国市町村自治研修所「自治体の中小企業支援」講師、武庫川女子大学 起業人材育成講座 講師・メンター
但馬銀行と本学の共同事業「但馬地域における事業承継に関する実態調査」アドバイザー

■アピールポイント

日本中小企業学会幹事、（一社）兵庫県中小企業診断士協会理事、兵庫県中小企業団体中央会コーディネーター、
(一社) 豊岡コミュニティシネマ監事、東浦ターミナルパーク活性化協議会座長

准教授 SENGAI YOSHIFUMI
千賀 喜史 senga@stdat.at-hyogo.ac.jp



■キーワード 企業の社会的責任、社会的責任投資、重要業績指標
Key Performance Indicator、SDGs、ESG、サステナビリティ経営

■教育研究

・担当科目：事業創造論（2年）、知と表現のデザイン（1年教養ゼミ）、組織マネジメント論（3年）、リスクマネジメント論（3年）
地域イノベーション実習（3年）

・研究：著作 …「ESG活動におけるKPIと管理システムの効果的な組み合わせに関する研究」(図1)等、他論文11編

・専門領域

立命館大学卒業後、会社員を継続しながら神戸大学MBAにて修士（専門職）を取得後、神戸大学大学院経営学研究科博士課程に進学し博士号（経営学）を取得。

新卒から自動車部品メーカーに入社し10年間営業に従事。その後、スポーツ用品メーカーにて企業の社会的責任(CSR)の推進、広報宣伝部にてプロモーション業務、事業企画課にてスポーツ用品・スポーツプログラムのマーケティング業務に従事。2018年9月より公立短期大学にて経営学、経済学、ビジネス実務の講師として経験を積み、実務家教員として芸術文化観光専門職大学へ入職。教育職と並行して多数のサステナビリティ推進やPR業務のコンサルティング業務を兼任。

具体的な内容

- 1.企業の環境、社会、ガバナンスを中心とした重要業績指標（KPI）の研究
企業の定量指標であるKPIを対象に、指標の研究と効果的なマネジメントに必要な要因に関する研究。
- 2.サステナビリティ活動導入に向けたコンサルティング業務
導入を検討される企業に対して、実務経験を通じた現実的な導入に向けたマネジメント支援等。
- 3.ESG活動を中心とした指標の策定とマネジメント支援
環境、社会、ガバナンスを中心とした目標設定と、効果的なマネジメントサイクルを回す組織体制の設立の支援等。
- 4.広報・PR支援
広報宣伝部でのPR業務、CSRの推進業務での経験を通じたPR全般の支援、統合報告書作成支援等。

■地域貢献・社会貢献

- ・令和元年度おおいた産学官交流合同シンポジウム（研究発表）
- ・令和2年度広報人材育成研修事業審査委員、令和3年度広報人材育成研修事業審査委員
- ・企業コラボレーションによる製品プロデュース活動多数
- ・令和4年 社会人を対象としたリカレント教育 但馬ストーク・アカデミー講師 担当『経営戦略』
- ・令和4年 兵庫県中小企業団体中央会主催「SDGsでつかむ！従業員のやる気とチャンス」ゲスト講師

■アピールポイント「実務と理論に虹色の橋をかける」

- ・10年の営業経験を基本とした現場を巻き込むサステナビリティ活動の支援（顧客は東証一部上場企業様等）。
- ・2度の学術賞を授与（第6回碩学賞第一席、環境経営学会平成30年度研究報告大会萌芽研究会 優秀賞）。
- ・科学研究費助成事業2022年度若手研究を採択。創発型のCSR活動を支援するKPIマネジメントの解明
- ・CSRやESGを中心とした社員のモチベーションアップに向けた施策策定や講演が可能。
- ・個人ホームページ <https://senga-lab-net.jimdosite.com/>



図1 vol.42 第6回 碩学賞受賞 一席受賞作
「ESG活動におけるKPIと管理システムの効果的な組み合わせに関する研究－先進企業の事例研究－」



個人ホームページQRコード

助教 XIA SHIMING
夏 世明

xia@stdat.at-hyogo.ac.jp



■キーワード

組織マネジメント、社会調査、統計解析、外国語教育とAI

05

■教育研究

・担当科目 :

【現担当】 ジェンダー論、創造性開発演習、デステイネーション実習、観光交通業実習、地域イノベーション実習
【担当経験有】 統計解析、社会調査技法、経営組織調査法、男性学入門、組織・経営学基礎、研究基礎、英語リーディング、中国の言語と文化、日本語文法

・研究・著作 :

1. Relationship Quality Among Co-Workers :The Role of Commitment and Trust in China. *European Journal of International Management.* 23(1). 31-59, 2024.
2. Utilisation des connaissances en anglais dans l'enseignement des langues étrangères au niveau débutant : Un exemple dans les cours de chinois. *Revue japonaise de didactique du français*, Vol.19.274-277, 2025.

・学内委嘱委員 : 教務委員会

■専門領域

1. 組織マネジメント（実証研究）
2. 高度専門職キャリア形成
3. ジェンダー
4. 外国語教育とAI

■地域貢献・社会貢献

外国人女性の会パルヨン（外国人女性住民支援）

■アピールポイント

質問紙調査設計および分析を長年担当しています。

英国、中国大陸、台湾などの大学および自治体と協力体制を構築し、共同研究およびイベント共催などを担当した経験有り。

助教 KOJIMA HIROTOMO
小島 寛大 kojima@stdat.at-hyogo.ac.jp



05

■キーワード アートマネジメント、芸術教育、ワークショップ、子ども
芸術・文化事業の評価、文化政策

■担当科目

知と表現のデザイン（1年）、芸術文化観光プロジェクト実習（1～4年）
地域創生実習（2年）、地域イノベーション実習（3年）、地域連携実習（4年）

■専門領域、研究

1. 芸術教育とアートマネジメント：これからの子どもの芸術教育のための制度と人材

子どもを対象とする国内外の芸術教育プログラムにおける官民連携のあり方、特に文化施設、学校、企業など異なる組織間の協働や、プログラムを担う専門人材の職能や育成に関心を持っています。

2. 芸術・文化プログラムの評価

芸術・文化のワークショップなどの活動により生じる参加者や地域コミュニティの変化と、芸術・文化の活動ならではの価値に着目して検証し、その結果を活用する評価の方法論を研究しています。

■地域貢献・社会貢献など

芸術文化観光専門職大学 地域連携プロジェクト（2024年度）

- 豊岡市立八代小学校における連続演劇ワークショップ プログラム評価（豊岡市教育委員会）
- 発達特性のある子どものためのダンスワークショップと保護者のための子育て応援講座（豊岡市社会福祉課）
- あさご芸術の森美術館における「子どものためのアートプログラム」企画支援（朝来市）

その他

- 公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団 ロームシアター京都 運営懇談会 委員
- 公益財団法人京都市芸術文化協会「文化芸術特別授業（ようこそアーティスト）」コーディネーター



a. 小学校での演劇ワークショップの様子



b. ダンスワークショップでの発表の様子

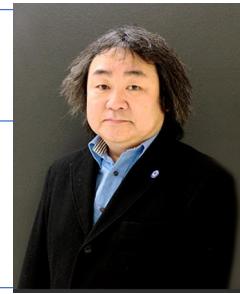


c. 美術館での職員・学生による企画会議

■アピールポイント

アートマネージャーとしてアート系NPOや公立の文化センターや劇場などに15年以上勤務し、演劇、ダンス、音楽、生活文化（華道、茶道など）、美術、写真など、様々な分野の公演やワークショップを運営した実務経験があり、特に教育プログラムに長年携わってきました。また、準認定ファンドレイザー、日本評価学会認定評価士の資格を持ち、事業や組織の中長期的な運営を支援し、社会課題解決に向けた挑戦の現場に伴走できる研究者を目指しています。大学以外にも自身が主宰するコジカレーベル（京都市）で創造的な音楽ワークショップや子ども音楽クラブの活動を続けています。小中学校や幼稚園・保育園や学童など、子どもの生活や学びの場をアートによって豊かにしていくことに貢献できたらと考えています。

TSUJIMURA KENICHI
助手 辻村 謙一 tsujimura@stdat.at-hyogo.ac.jp



■キーワード

マーケティング（地域貢献・地域資源活用・非営利活動等）
人的ネットワークによる地域資源や人的資源の発掘、ソフト・コンテンツの活用
および導入 等

05

■教育研究

- ・担当科目：観光資源実習、宿泊業実習、地域創生実習、地域イノベーション実習、地域連携実習
- ・研究：著書…「響創する日本型マーケティング」 第11章『芸術文化観光専門職大学における臨地実務実習の展開——PALAR視点からのリフレクション』執筆
- ・本学の運営等の担当：R&Iセンター委員



響創する日本型マーケティング
2022/03/関西学院大学出版会

■専門領域

- ・『豊岡市神鍋地域における内発的地域イノベーション・エコシステム
— 株式会社Teamsのケーススタディ —』共同執筆
(日本マーケティング学会カンファレンス2022, 10月16日.)
- ・香美町青年会議所主催「その夢が地域を創る」講師 (2022年4月2日)
- ・北近畿地域連携機構市民リエゾンユニット主催「2022年度第1回北近畿高大公連携フューチャーセッション」にて事例発表 (2022年11月18日)
- ・福知山公立大学2022地域活性化策コンテスト「田舎力甲子園」審査員 (2022年12月11日)
- ・豊岡市商工会青年部日高支部主催セミナー講師「ロマンチストから学ぶ地域活性企画の極意」 (2022年12月14日)
- ・「香美町地域連携事業— 香美町のお米ブランド戦略について—」共同研究
- ・福知山青年会議所4月例会での基調講演 (2025年4月14日)
- ・関西学院大学専門職大学院 非常勤講師
- ・福井県立大学大学院 非常勤講師



2022/12/14
江原河畔劇場にて実施

■地域貢献・社会貢献

- ・コミュニティ31主催 芸術文化観光専門職大学先生・学生との交流会
- ・学生との観光バトン講話@ブックストア・イチ

■アピールポイント

- 家業の1920年創立のファッショントレーニング専門学校を承継するも、2019年3月を以て法人解散。その後清算人として法人解散手続きを行い (2022年3月完了)、2021年4月より本学に就任。学校の閉校と開学を継続して経験する。
- 2002年3月に行なった、阪神・淡路マルチメディア産業交流会による豊岡市の視察訪問を契機として、豊岡市の方々との交流が始まった。2008年にはCIBER (Center for International Business Education and Research) が展開している共同課外授業“Global Business Project (GBP)”の日本での第一回目として、豊岡市宵田商店街 (カバンストリート) をフィールドとして行なう研究活動に、faculty advisorとして関与した。特に豊岡市が日本に、そして世界に誇る鞆関連の活動関連に興味を持ち、継続的に訪問を繰り返し現在に至っている。
- 宵田商店街—カバンストリートとしての復活— 2011/9 共同執筆
- カバスト春祭り (豊岡カバンストリート & 但馬future forum実行委員会主催) 審査委員 2010/3/21
- 一般社団法人日本ロマンチスト協会と日本財団が共同で実施している『恋する灯台プロジェクト』において、『恋する灯台』に選ばれた余部埼灯台 (兵庫県美方郡香美町) が立地している兵庫県香美町を「恋する灯台のまち」として認定し、平成28年11月4日に日本ロマンチスト協会兵庫県・神戸支部長として町長を表敬訪問 等

◆ お問い合わせ・産学連携申し込み

芸術文化観光専門職大学

・地域リサーチ&イノベーションセンター（RIC）・地域協働課

所在地

〒668-0044 兵庫県豊岡市山王町7-52

電話

0796-34-8123（代表）、34-8162（RICダイヤルイン）

ウェブサイト

<https://www.at-hyogo.jp/>

E mail

cat-hyogo@ofc.u-hyogo.ac.jp

発行責任者 小橋 浩一

担当 幸木 孝雄

発行日 2025年7月10日



芸術文化観光専門職大学
Professional College of Arts and Tourism